

Avg/Max/Min Speed View

Lap	Time (Diff)	Max Speed (Diff)	Min Speed (Diff)	Average Speed (Diff)	Distance
Lap1	00:48.648 (+00:07.476)	48.20 km/h (-5.95)	15.93 km/h (-4.06)	29.75 km/h (-5.77)	396.68 m
Lap2	00:46.178 (+00:04.969)	44.78 km/h (-9.38)	15.58 km/h (-4.41)	31.22 km/h (-4.30)	398.90 m
Lap3	00:43.828 (+00:02.757)	52.94 km/h (-1.22)	15.76 km/h (-4.23)	33.87 km/h (-1.65)	404.52 m
Lap4	00:46.004 (+00:04.832)	51.64 km/h (-2.52)	0.25 km/h (-11.73)	31.41 km/h (-4.11)	401.41 m
Lap5	00:43.322 (+00:02.160)	49.41 km/h (-4.75)	17.22 km/h (-2.77)	33.92 km/h (-1.60)	405.11 m
Lap6	00:42.001 (+00:00.889)	53.01 km/h (-1.15)	17.29 km/h (-2.70)	34.25 km/h (-1.27)	399.57 m
Lap7	00:42.038 (+00:01.160)	53.64 km/h (-0.52)	19.99 km/h	35.03 km/h (-0.49)	408.67 m
Lap8	00:44.033 (+00:02.880)	54.16 km/h	19.57 km/h (-1.42)	33.33 km/h (-2.19)	407.35 m
Lap9	00:41.719 (+00:00.947)	50.45 km/h (-3.71)	19.92 km/h (-0.07)	35.48 km/h (-0.04)	404.03 m
Lap10(beat)	00:41.172	52.85 km/h (-1.31)	18.83 km/h (-1.16)	35.52 km/h	404.52 m

Experience it with QRacing™
Fulfill your needs



Autocross

Drag Race

Rally

Karting

目次

目次.....	2
1.動作環境.....	5
2 アカウントを作成してソフトウェアキーを取得する.....	5
3. 自動更新.....	6
4. デバイスからログを込み.....	7
4.1 LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT, BL-1000GT.....	7
4.2 Q1000EX.....	8
4.3 ログ読込み.....	8
4.4 ログ削除/デバイスリセット.....	8
6.ツールオプション.....	9
7.記録リスト.....	10
7.1レーシングトラック管理.....	11
8.1レーシングトラックを設定.....	13
8.2トラックノート.....	14
8.3ビーコン.....	14
8.3.1 ビーコンを削除.....	17
8.3.2 標記移動/見出しを調整する/調整寛度.....	17
8.3.3 ビーコンセット編集.....	18
8.3.4 ビーコンのエクスポート/インポート.....	18
8.3.5 ビーコンをデバイスにエクスポート (LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT のみ).....	19
8.4データ分析.....	19
8.4.1 馬力分析.....	21
8.5トラック.....	22
8.5.1 マップビュー.....	22
8.5.2 画面表示モード設定.....	23
8.5.2.1 G 値を表示.....	23
8.5.2.2 G 値分布図を表示.....	24
8.5.2.3 ブレーキラインを表示.....	24
8.5.2.4 コース図表示.....	25
8.5.2.5 再生中コースマップの.....	25
8.5.2.6 トラックを回転.....	25
8.5.2.8 ウィンドウのサイズ変更.....	26
8.5.3 再生.....	27
8.5.4 強化された分析オプション.....	28
8.6比較.....	30
8.7省略.....	30
9.トラックをエクスポート・インポート.....	30
9.1トラックをエクスポート.....	30
9.2 トラックをインポート.....	31

10. QWS クラウドにセッションをアップロードする	31
11. ドラッグレースの設定	33
12. 画面キャプチャー	34
13. セッション分割	34
14. グーグルアース	35
15. QRacing ソフトウェアと LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT、BL-1000GT をアップデートします。	35
16. フェイスブックでキュースターズと交流しましょう	36
17. Q&A	36

更新情報：

3.99.810

1. セッションリストにフォントのズームイン/アウト機能を追加。 [「記録リスト」](#)
2. 軌跡ページのトラック上の 2 点をマークするときに、2 点間の距離と時間の情報を表示するように追加しました。 [「強化された分析オプション」](#)
3. 軌跡ページのチャートに X 軸の距離/時間切り替え機能とスムーズ化機能を追加。 [「再生」](#)
4. 軌跡ページでトラックの再生中にキーボードの左/右キーを使用してウェイポイントを移動する機能を追加しました。
5. ビーコンページに編集セッションの微調整機能を追加。 [「セッション分割」](#)
6. QRacing App でユーザーの作成したコースを QRacing PC ソフトウェアにダウンロードし、8000GT または 6000S シリーズ デバイスにエクスポートできるようにする。 [「ビーコンをデバイスにエクスポート」](#)

3.99.800

1. トレース ページに拡張分析オプションを追加しました。 [「強化された分析オプション」](#)
2. パフォーマンスを向上させる
3. いくつかの問題を修正

3.99.700

1. 5 回ログインしないと使えない制限を解除。
2. ページ内のチャートで Y 軸スケール設定をサポート。 [チャート設定](#)
3. 接続機器の名称設定を追加(機種：LT-Q6000、LT-6000S、LT-6000S[GNSS]、LT-8000GT、BL-1000GT の場合)。
4. トラック再生ボタンの位置を修正。 [再生](#)
5. デバイスファームウェアの更新とトラックマップの機能を強化します。 [更新](#)
6. ログの読み取りダイアログを強化。 [デバイスからログを込み](#)
7. トラック再生機能の強化。

3.99.600

1. ドラッグマルチ条件設定を追加します。 [「ドラッグレースの設定」](#)
2. LT-8000GT をサポート。
3. PC QRacing からログインして、ソフトウェアキーを自動的に取得します。
4. 画面表示モード設定の変更。 [「画面表示モード設定」](#)
5. トラックページのウィンドウサイズ変更機能を変更します。 [「ウィンドウのサイズ変更」](#)を参照してください。
6. セッション分割機能を追加。 [「セッション分割」](#)をご覧ください。

3.99.500

1. チャート設定 [「チャート設定」](#) を追加。
2. rcnx ファイルをインポートするソフトウェアにドラッグします。
3. インターネット接続では、QRacing ソフトウェアを閉じてても自動的にログアウトされません。

3.99.400

1. QRacing ソフトウェアをアクティブ化するには、ログインする必要があります。 5 回以上ログインに失

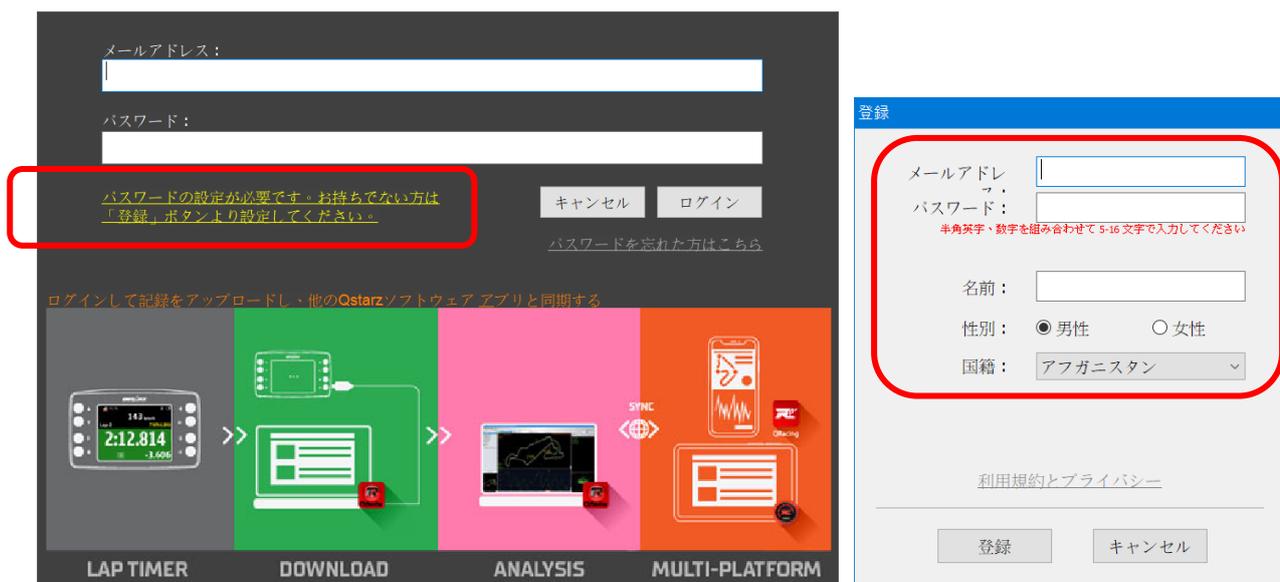
- 敗すると、QRacing ソフトウェアがロックされます。「[アカウントの作成](#)」を参照してください。
- 2.公式トラックはビーコンを追加/編集できますが、QRacing Web にアップロードすると、公式ビーコンを使用してラップタイムが計算されます。
- 3.自分の走行作成した軌跡をコースマップに設定できます。「[ビーコン](#)」をご参照ください。

1. 動作環境

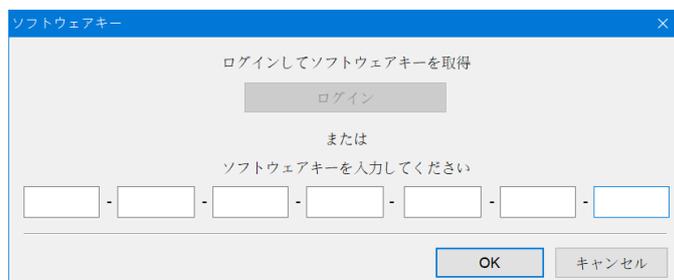
推薦システム条件
Windows 7 またはそれ以降
Intel Core i5 or AMD FX 8 Core Series
6GB RAM
50GB of free disk space
3D-capable video card with 32Mbytes of VRAM or greater
1980x1060 “32-bit True Color” screen

2 アカウントを作成してソフトウェアキーを取得する

[登録]をクリックし、関連情報を入力して確認書の有効化を完了すると、アカウントが有効になります。



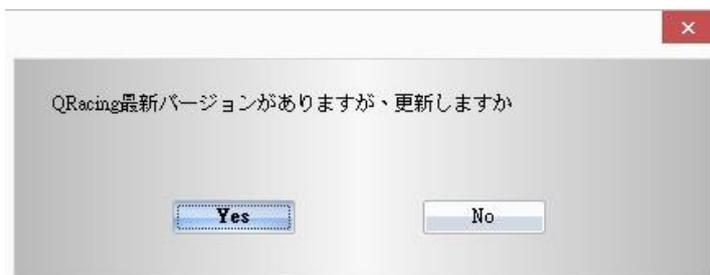
ログインすると、QRacing のソフトウェアキーを取得できます。キーは QRacingWeb アカウントに保存されます。コンピューターを変更すると、QRacing に再ログインすると、ソフトウェアキーが自動的に書き込まれます。



または、『About』を開き、『ソフトウェアキー』ボタンをクリックすると、入力できます。

3. 自動更新

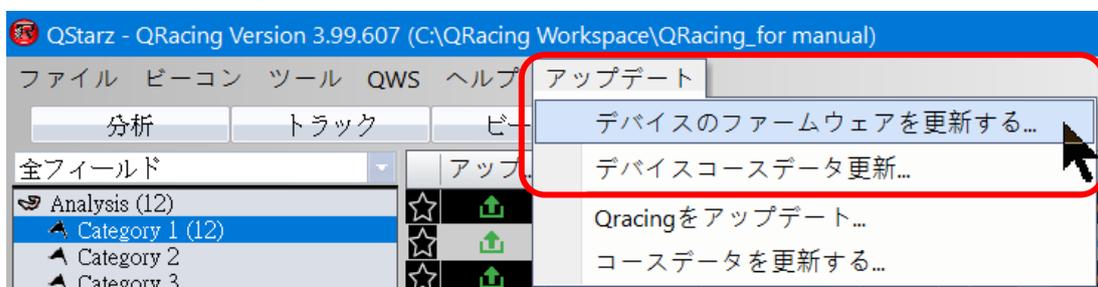
QRacing: ネット環境の下で QRacing を起動するとソフトとコース図バージョンの自動スキャン確認と更新知らせコメントが行います。

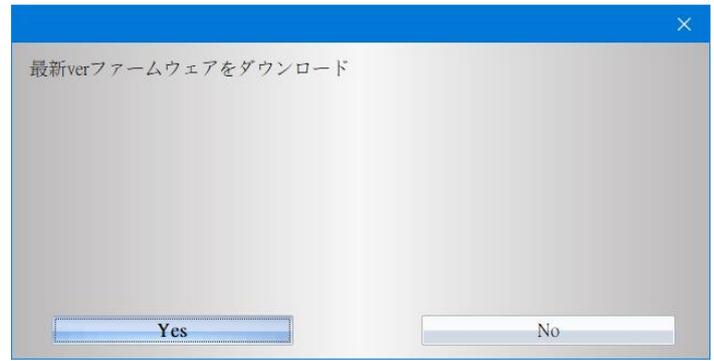
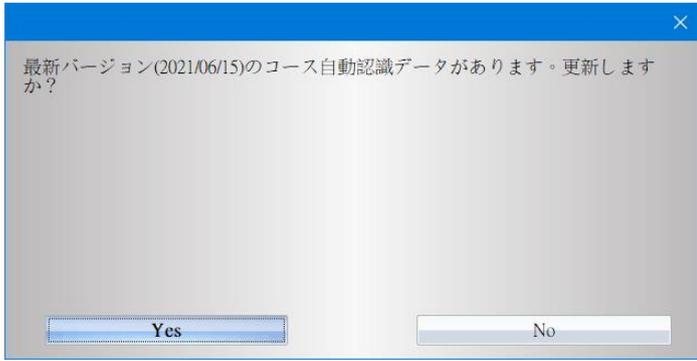


LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT: デバイスの電源を切り、インターネットで PC に接続します。QRacing は自動検出し、最新のデバイス ファームウェアとトラック マップ バージョンに更新します。また、QRacing ソフトウェアの [更新] > [デバイス ファームウェアの更新] [デバイス トラックの更新] をクリックして、ファームウェアと Trac kmap の最新バージョンを更新することもできます。

BL-1000GT: デバイスの電源を切り、インターネットで PC に接続します。QRacing は自動検出し、最新のデバイス ファームウェアに更新します。QRacing ソフトウェアの [アップデート] [デバイスファームウェアのアップデート] をクリックして 最新バージョンのファームウェアをアップデートすることもできます。

更新する前電池の電量を **50%以上**確保してください。また電池カバーしっかり装着、更新途中に電池脱落し、更新失敗しないようにご注意ください。電池はずれ、失敗場合デバイス故障なる恐れも座います。

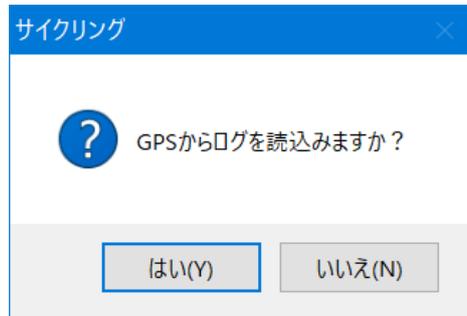




4. デバイスからログを読み込み

4.1 LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT, BL-1000GT

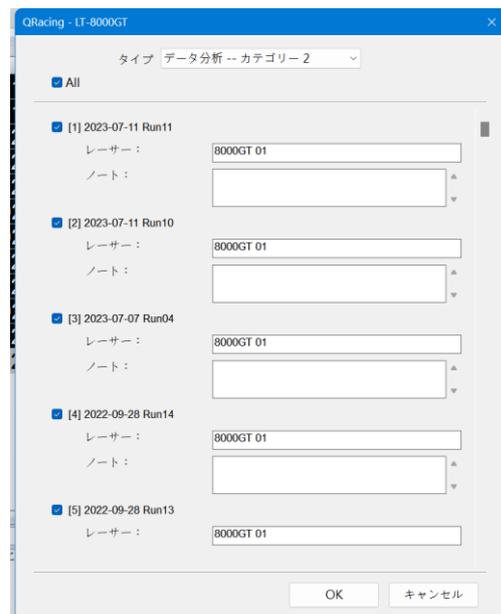
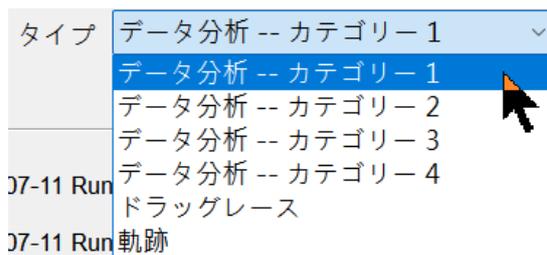
デバイスを OFF 状態のままでパソコンに接続して、QRacing はデバイスを自動認識し、デバイス内のログを読み込む提示が出ます。“はい”をクリックするとデータを読み込みめます。



タイプ選択:

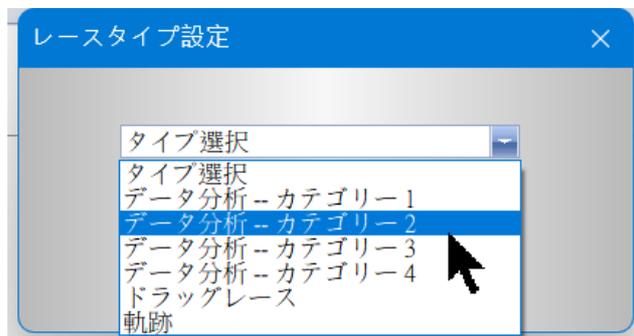
***ラリーモードの対応は LT-6000S のみ**

読みセッションを選択:

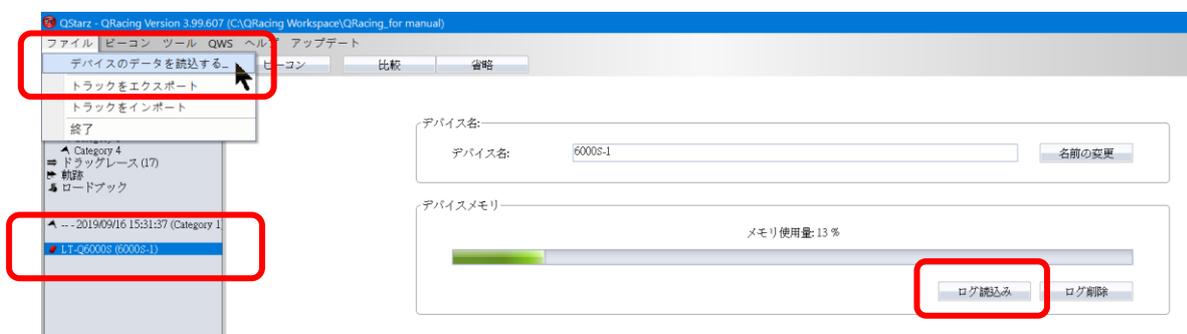


4.2 Q1000EX

デバイスを ON の状態でパソコンに接続し、QRacing はデバイスから、デバイス内のログを読み込む提示が出ます。“はい”をクリックするとレースタイプの選択に進みます。

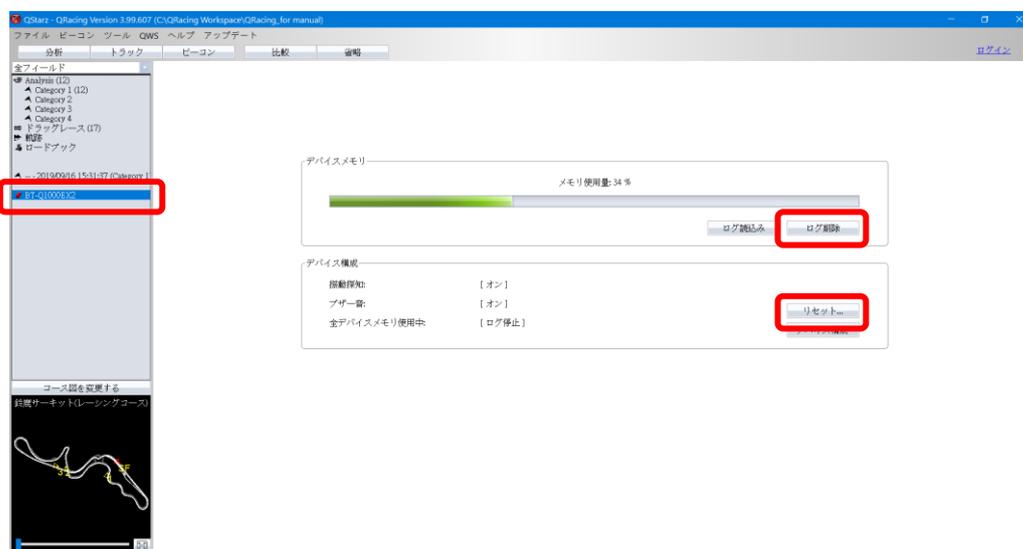


4.3 ログ読み込み



手動でログを読み込む場合、画面左のデバイス名をクリックし、ユーザ情報ページで、“ログ読み込み”ボタンを利用するか、または画面左上の[ファイル]-->[ログ読み込み]を使用してください。

4.4 ログ削除/デバイスリセット

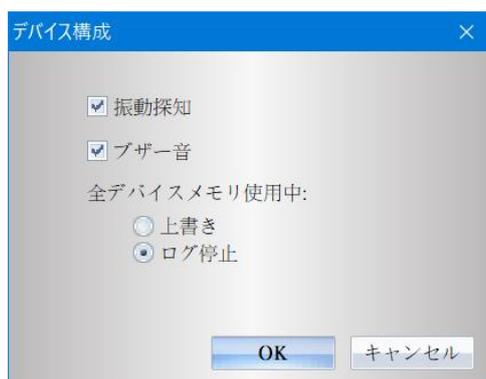
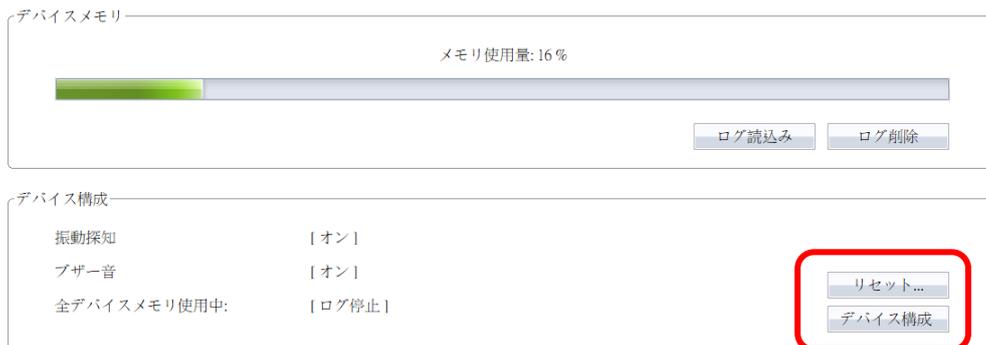


ユーザ情報ページでログの削除もできます。デバイスを接続し、“ログ削除”の利用、または[ファイル]-->[ログ削除]を使用してください。

もし、デバイスを初期設定の状態に戻す場合、[ファイル] -> [デバイスリセット]を使用してください。そして左のデバイス装置をクリックするとログ削除をリセットができますが（1000eX はリセット同時にログも削除します。ご注意ください。他型番製品のリセットは初期設定にもどるだけ、記録は削除しません）

5. デバイス構成 (BT-Q1000eX 機種のみ)

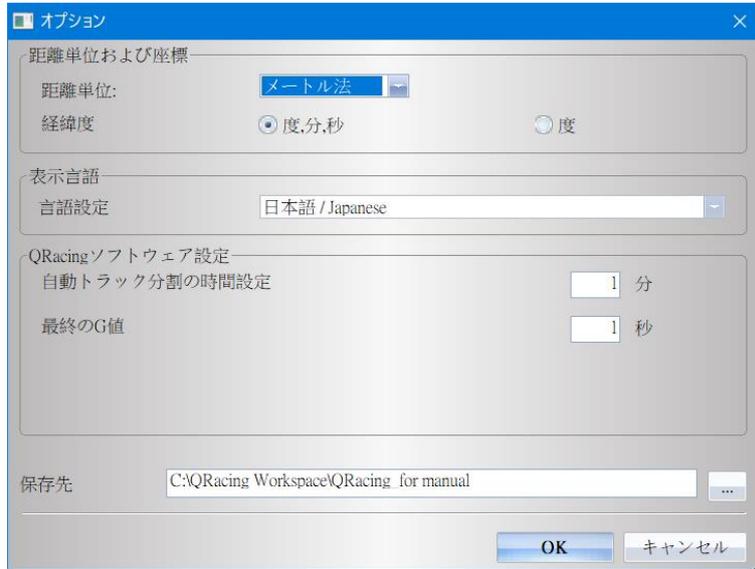
デバイスに接続すると、デバイスの詳細設定ができます。ユーザー設定ページでは『デバイス構成』ボタンをクリックすると、振動探知、ブザー音、デバイスメモリを設定できます。



6. ツールオプション

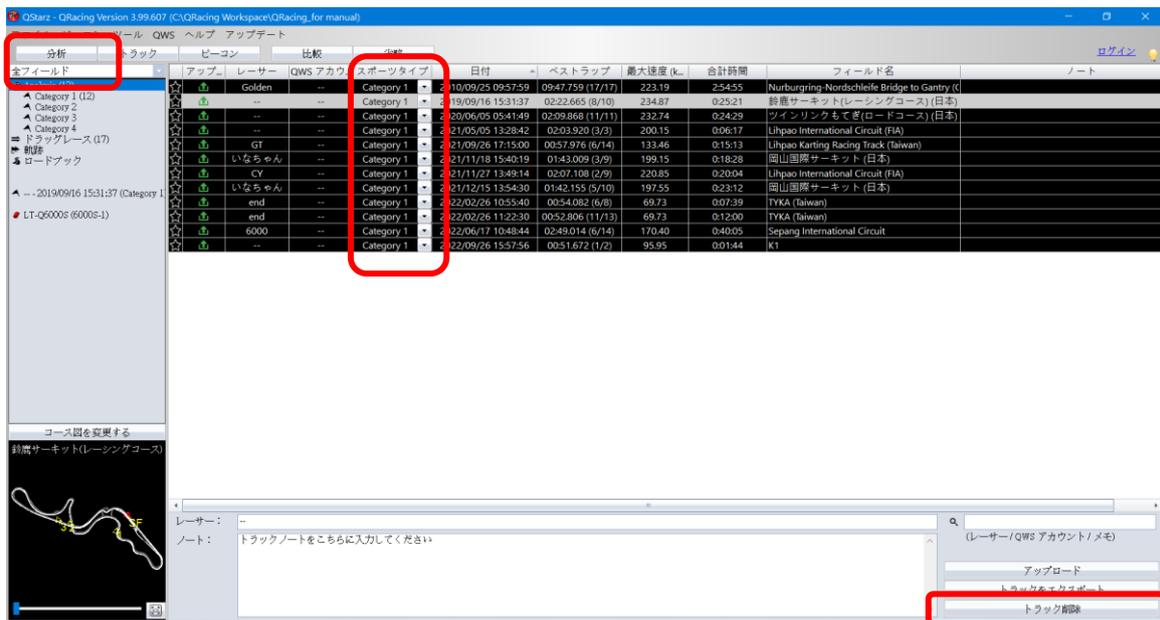
メニューバーでは『ツール』を開き、『オプション』をクリックすると、「距離単位および座標」「表示言語」「トラック設定」「G 値設定」「ファームウェアをアップデート」「保存先」「AGPS をダウンロード」「保存先」などの設定・調整はできます。

*自動トラック分割の時間設定は BT-1000eX のみ

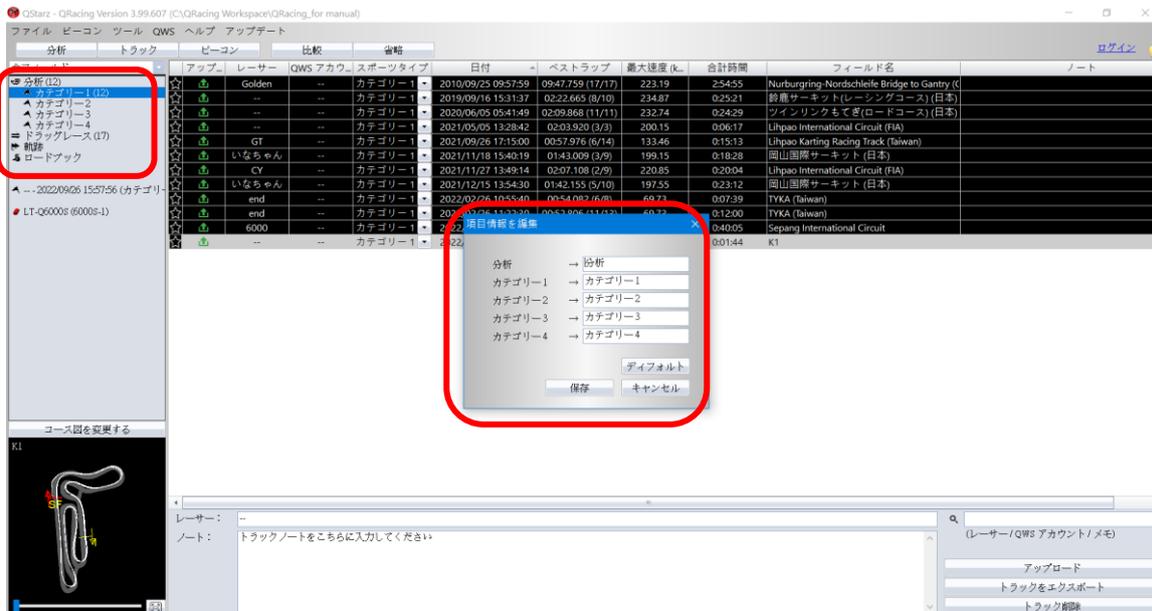


7. 記録リスト

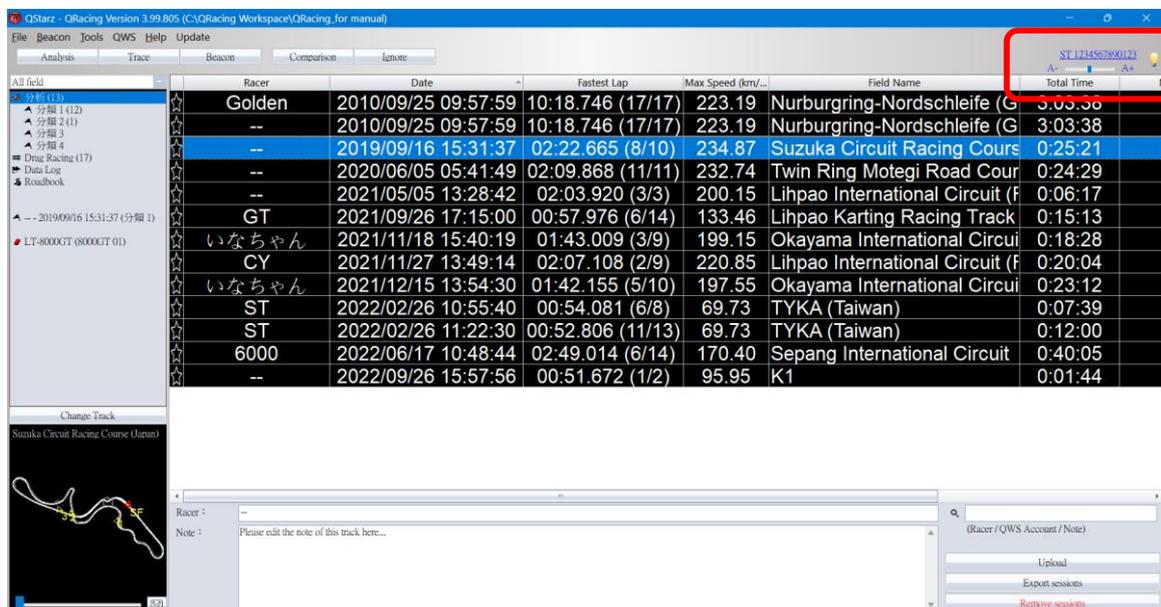
インポートされたセッショントラックをダブルクリックすると、分析ページに反映されます。該当セッションのレースタイプが正しくない場合は、リストの中に正しい項目に変更することができます。削除する場合は、セッションを選び、『トラック削除』ボタンをクリックしてください。



マウスの右ボタンをクリックします
分析モードのカテゴリ名を変更できます。



A+ / A- を使用して、トラックリストのフォントを拡大または縮小できます。



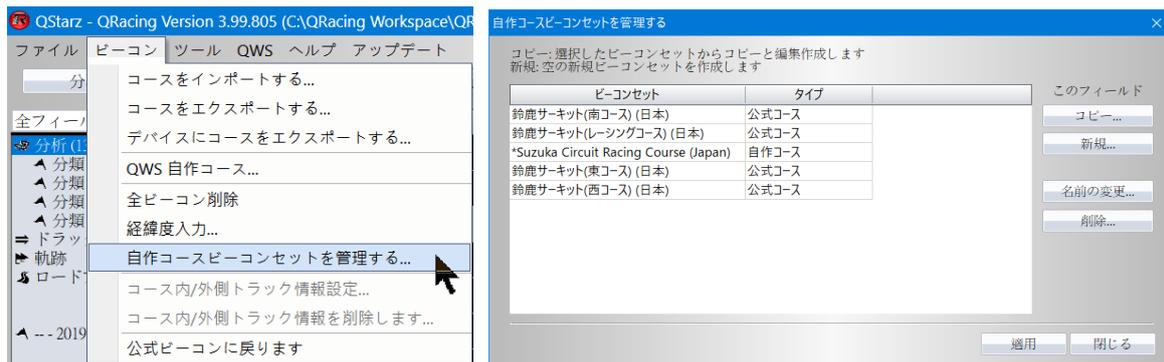
7.1 レーシングトラック管理

QRacing はレーシングトラック管理に対応しています。レーシングトラックが QRacing データベースから対応するコースを新しく見つかった場合は、ソフトウェアはトラック名を設定するよう求めます。入力が完了すると、フィールド名を通じて、フォルダからトラックの記録を閲覧・検索できます。

*Qstarz の公式コースのみ表示

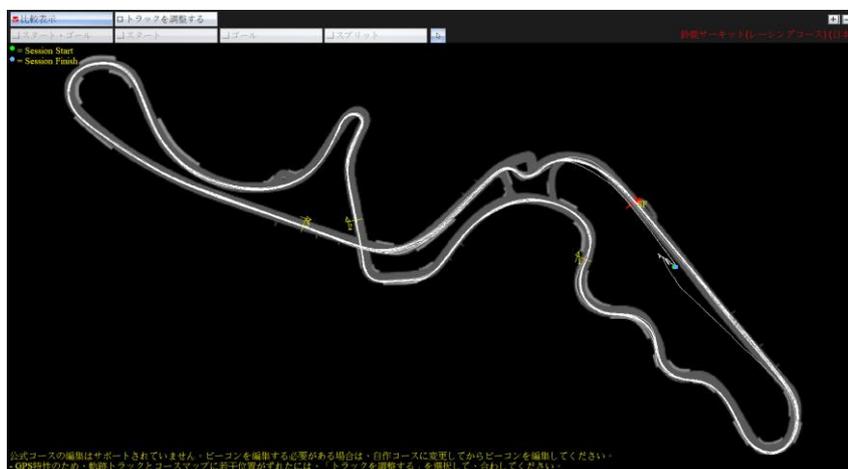


『ビーコン』を選び、『フィールド編集』をクリックすると、レーシングトラックの名前を編集できます。



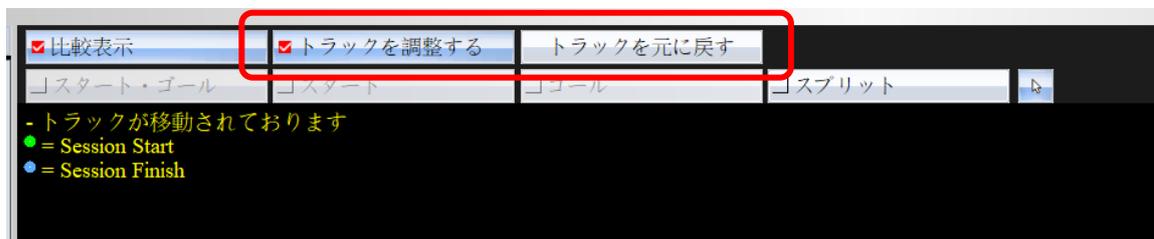
8. コース図データベース

QRACING はコース図データベース内蔵し、自動検索とコース図表示機能あり。



「コース図をあわせる」チェックを入れるとコース図と軌跡は微調整で合わせる事支援可能
您可以勾选调整轨迹来微调轨迹与赛道底图作最佳化。修正加工した軌跡は QRacing Web にアップロードできません。

軌跡復旧：調整した軌跡は復旧能で元の位置戻します。



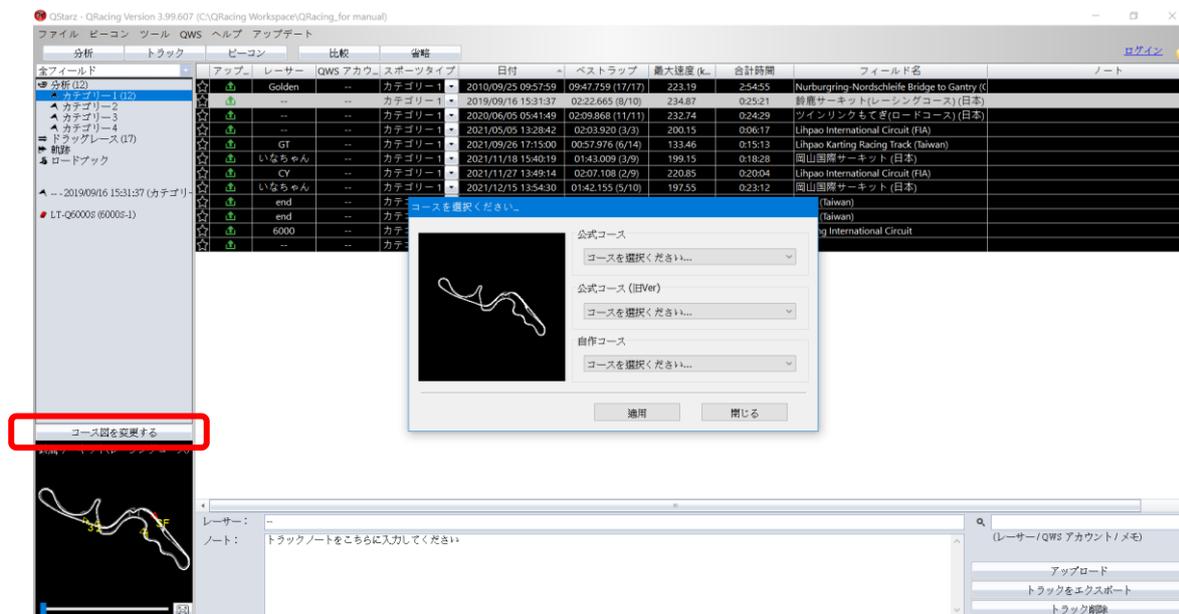
もし自動認識のコース図が不正確の場合、手動でコース図を選択交換が出来ます。

例えば、一部同じ SF LINE 使用してる複合サーキットもこの手動機能で利用したいコース図が選択出来ます。

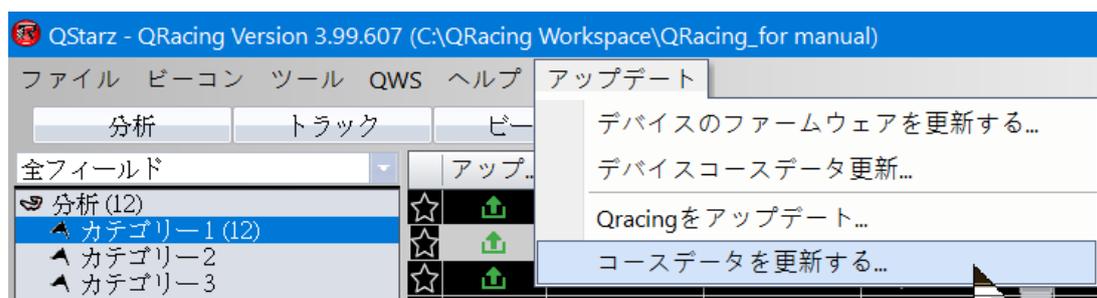
公式コース：今 Qstarz 最新バージョンのサーキットコースリスト

公式コース（旧バージョン）：今利用していないコースデータ

自作コース：ユーザー定義作成したコース



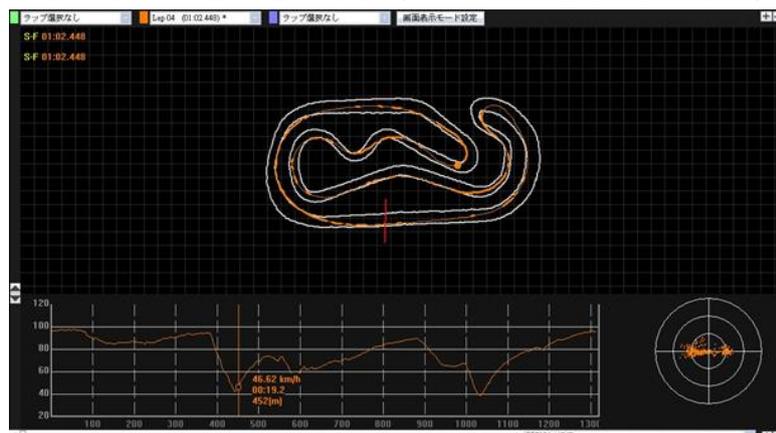
メニュー-->[ビーコン]-->[コースデータを更新する]最新コース図データベースをダウンロードし、更新する。(ネットに繋ぐ環境が必要)



8.1 レーシングトラックを設定

仮に QRACING の公式コース図はあなたのサーキットコース図に対応できない場合は、独自のコースマップを作成できます。

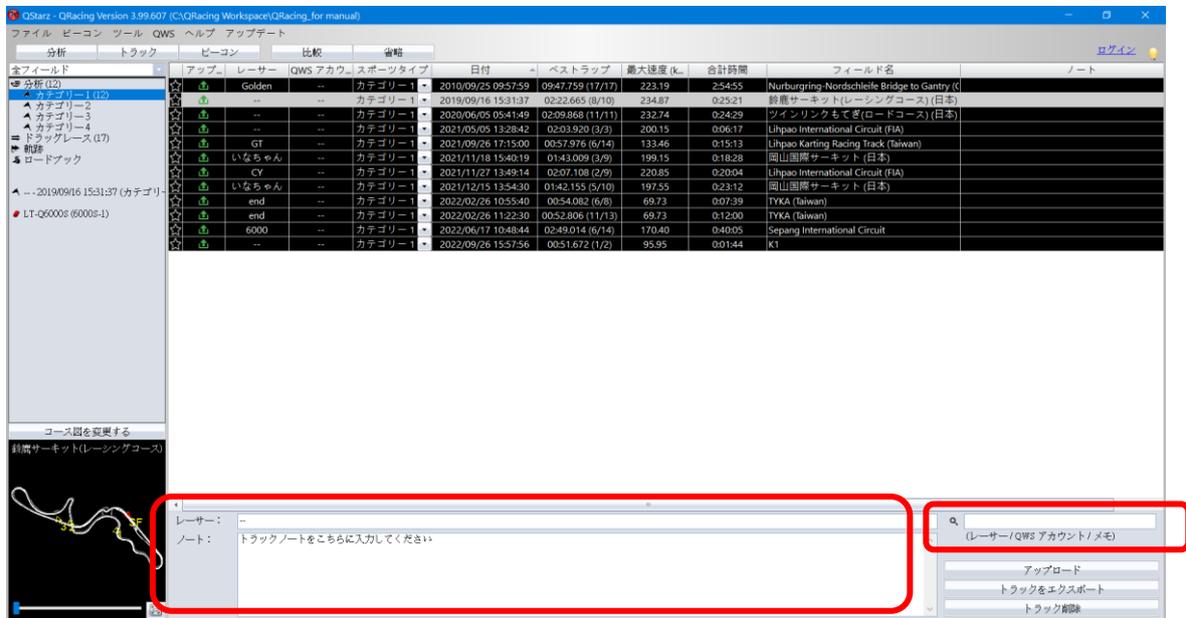
デバイスがロッキング状態で走行することにより、サーキット図を描くことができます。サーキットコースの内側と外側の走行したラップを両方記録した後、『レーストラック設定』をクリックし、二つのラップを選ぶと、トラックの内側と外側として記録することになります。また、グーグルアースでは作成されたサーキット図をインポートさせることもできます。(8.2.2をご参照ください)



8.2 トラックノート

デバイスからログを読込んだ後、トラックにノートを書き加えることができます。ご希望のトラックを選び、下のスペースにノートを書き加え・編集ができます。レーサー名を編集できます。

下の検索バーでキーワードを入力すれば、関連備考とメモが検索できます



8.3 ビーコン

ビーコンが編集してなければ、「ビーコン編集しますか」もしくは「Q6000 からビーコンをダウンロードしますが、よろしいですか」ウィンドウがポップアップします。ビーコンが編集した後、QREACING は自動的にレースの分析データを計算してくれます。ビーコンページで「スタート・ゴール」「スタート」「ゴール」「スプリット」四つのビーコンタイプが全種類のレースタイプに合わせ、編集可能になります。

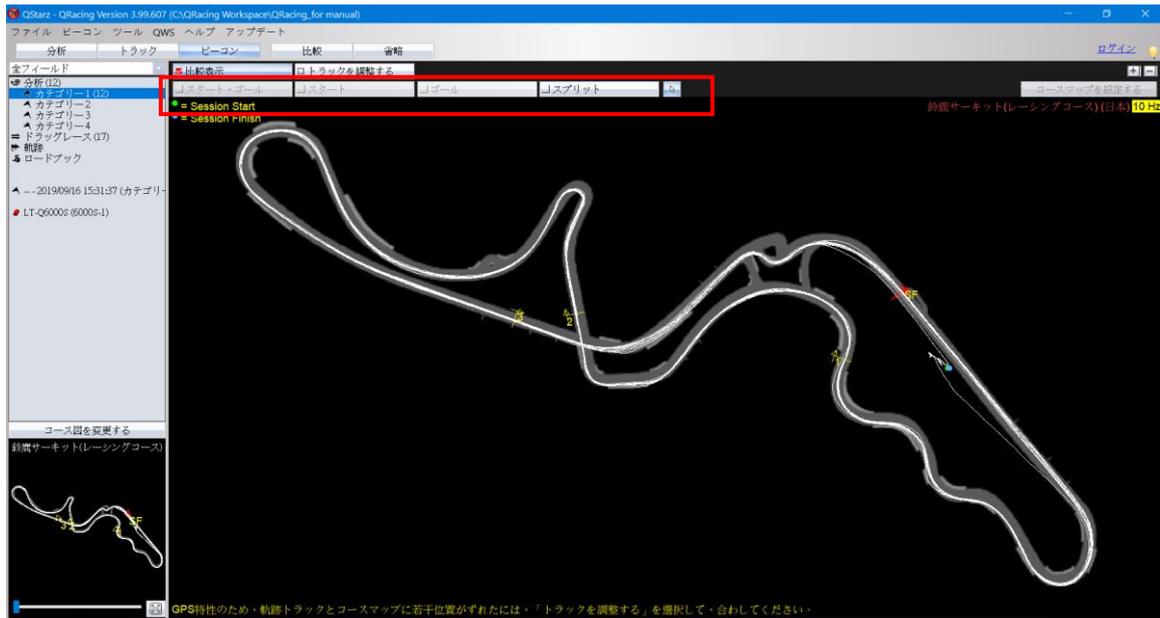
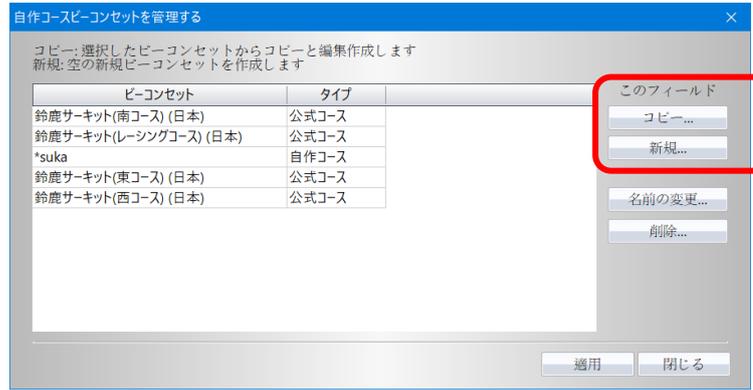
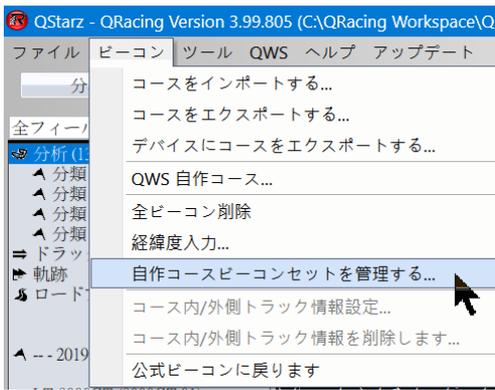
複製：選択したコースのビーコンセットから複製と編集する機能

新規作成：完全に新規でビーコンセットを自作設定する機能

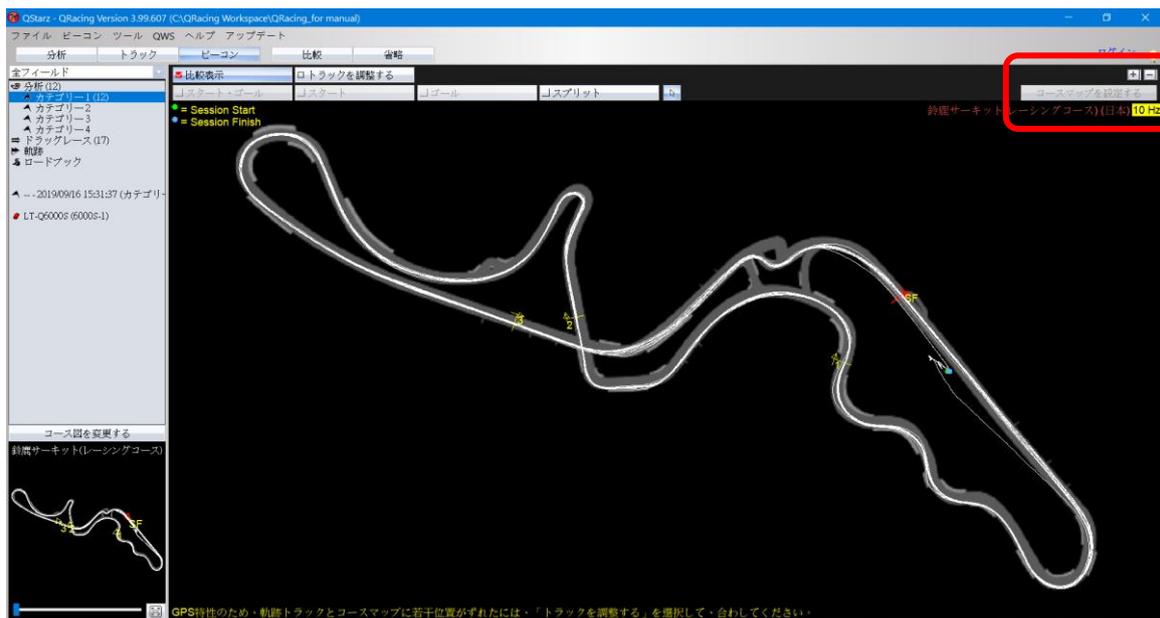
*毎サーキットのセッション記録では「スタート・ゴール」「スタート」「ゴール」を1つしか設定できません。「スプリット」は複数の追加はできます。

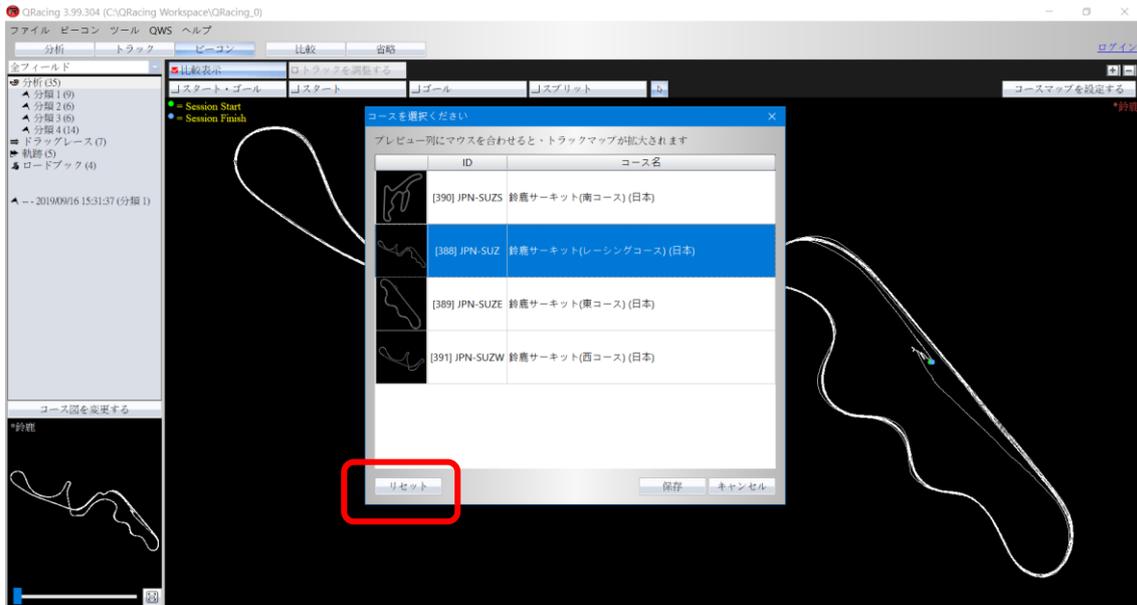
ビーコンのボタンが灰色になったところは、このセッション既に編集されております。

削除次第、編集できません。

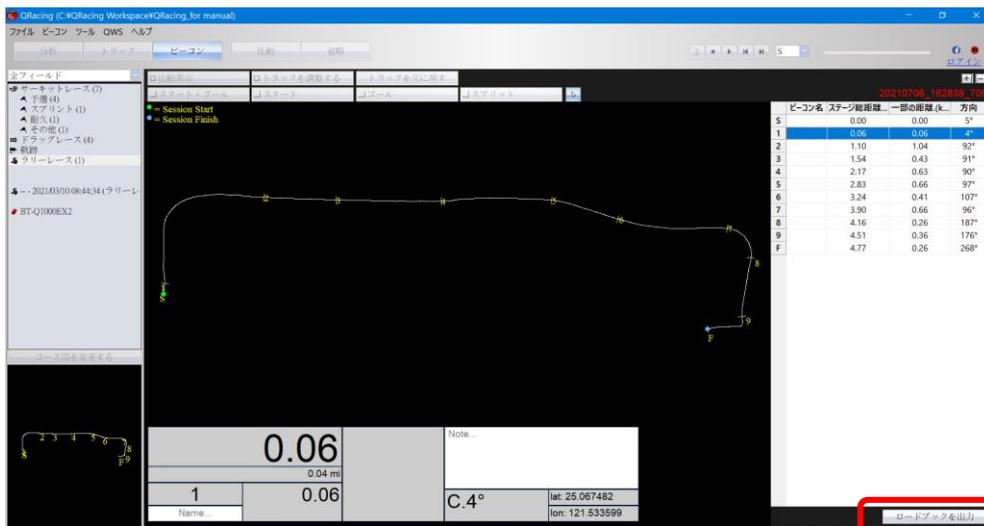


ユーザーの走行作成した軌跡がビーコンページでコースマップを設定し、リセットボタンをクリックしてコースマップを表示しないようにすることができます。

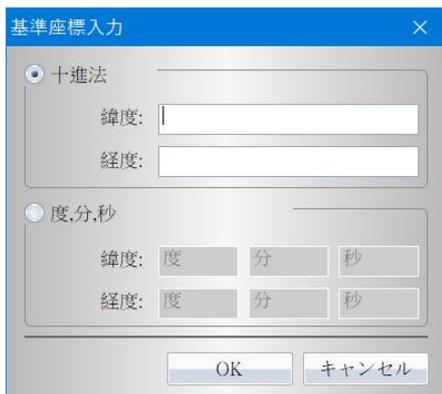




ラリーモード内、ビーコンの表記、または表記点の情報を編集することが出来ます。そして、ロードブックをエクスポートをクリックして、ロードブックのデータをHTML形式での保存が出来ます。その後、ブラウザでの閲覧と印刷して、紙面上に後編集も可能です。(LT-6000S デバイスの対応限定)

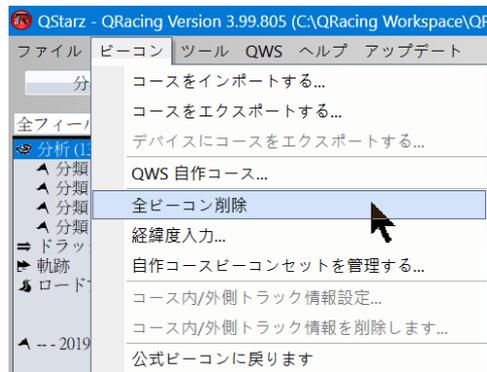


ご希望のビーコン位置はご存知の場合、『ビーコン』をクリックし、『経緯度入力』を開き、ビーコン位置の緯度と経度を入力することができます。



8.3.1 ビーコンを削除

ビーコンを削除する場合、マウスのポイントをビーコンに移し(ビーコンがハイライトされます)、クリックし(右クリックも可能です)、『ビーコン削除』ボタンをクリックすると、ビーコンを削除できます。また、画面の左下『全ビーコン削除』左ボタンをクリックすると、全ビーコンは削除します。

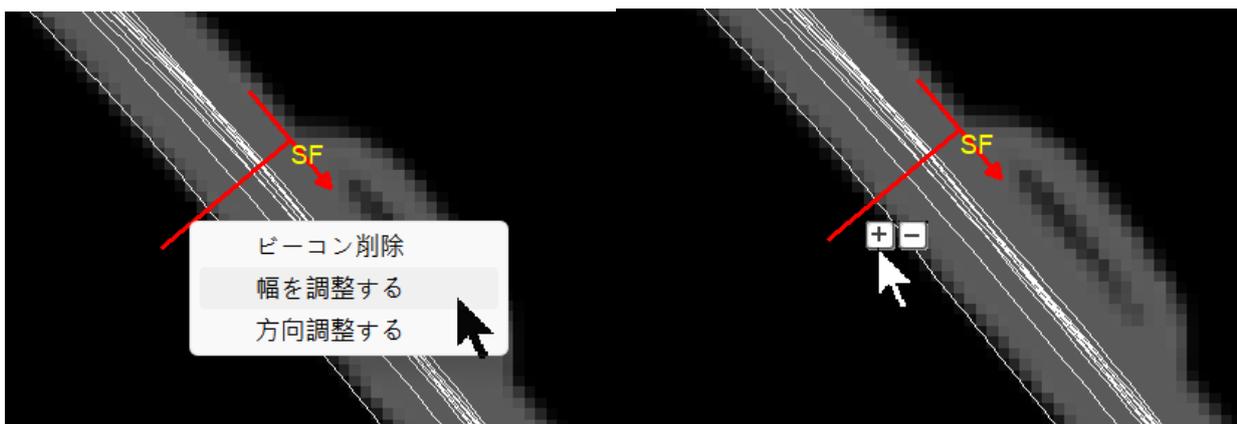


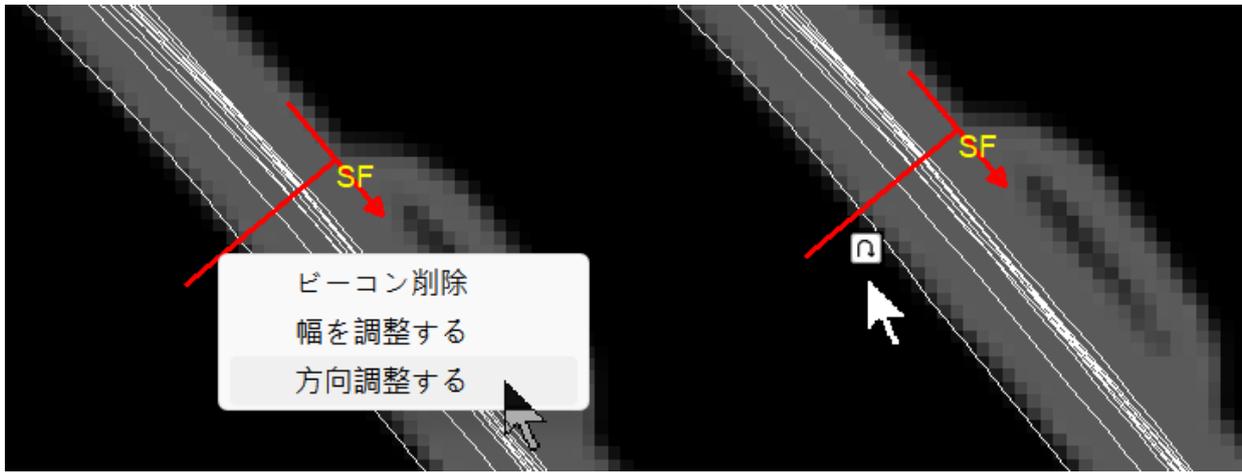
8.3.2 標記移動/見出しを調整する/調整寛度

マウスの矢印を調整したいビーコンに行って、ビーコン表示色が光れると、マウスの左ボタンをクリックし、幅の調整ができます。

そしてマウスの左ボタンをクリックしたまま移動すると、ビーコンの移動もできます。

ビーコンの見出しを調整するには、そのビーコン上でマウスを動かします(ビーコンが強調表示されます)。右クリック、マウスで「見出しの調整」を選択します。「回転」を使用して見出しを調整します。



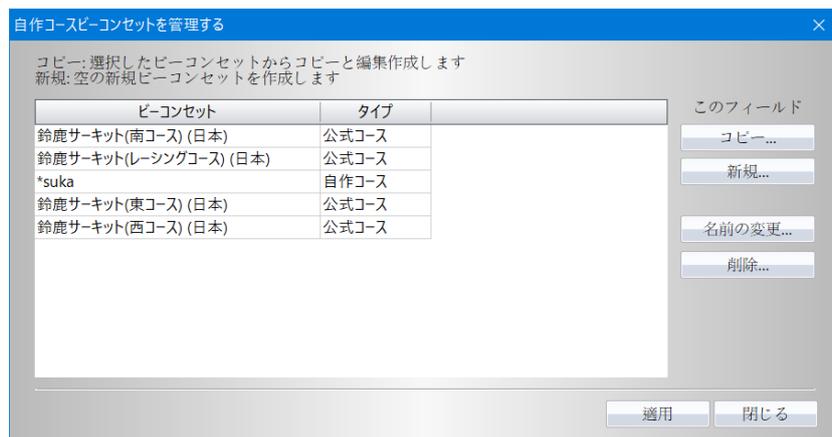


8.3.3 ビーコンセット編集

QRacing では同様なコース図に複数ビーコンセット編集も可能、個別に選択しても分析可能。

ビーコンページ→ [ビーコンセット編集..

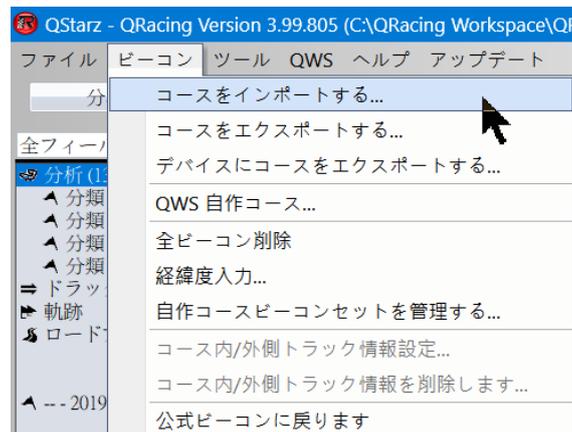
「公式ビーコン」を使うか「ビーコンセット編集」で新規ビーコンセットを使います。



8.3.4 ビーコンのエクスポート/インポート

ビーコンデータとサーキット情報を共有することができます。

“ビーコンをエクスポート” と“ビーコンをインポート”ボタンを利用してください。

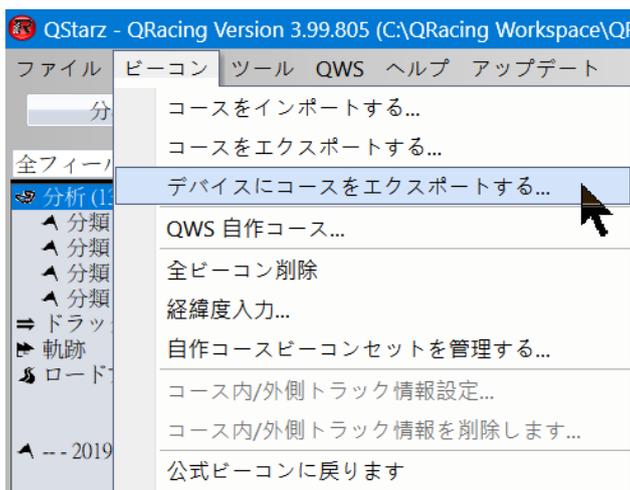


8.3.5 ビーコンをデバイスにエクスポート (LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT のみ)

QRacingにてスタート/ゴールまた、ビーコンの標記することができ、そしてデバイスに転送してサーキット走行のタイム計測と分析ができます。

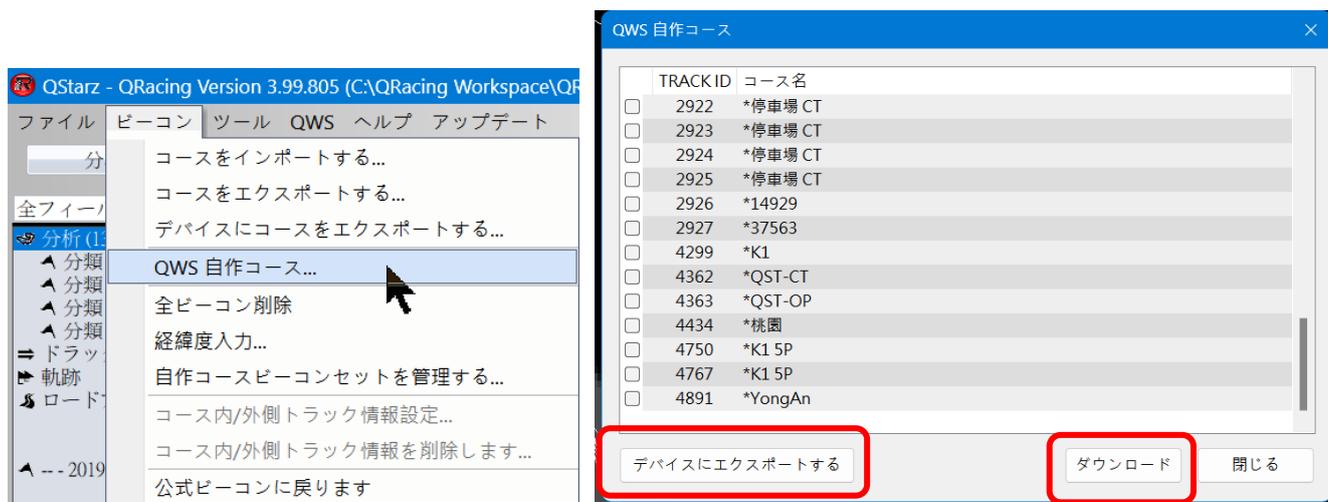
また“ビーコン”ボタンをクリックし、

“デバイスに自作コースビーコンをエクスポート”を選択すれば、データをデバイスに転送します。出力成功したビーコンセットはデバイスの C_BEACON\SHARED BCNx.BIN に保存しております、QRAICNG では自由に自作コースのビーコンセットをインポート、エクスポートができます。



または、QWS ユーザー追跡機能を使用して、ビーコンを QRacing ソフトウェアにダウンロードするか、デバイスにエクスポートします。

1. まず QRacing APP を使用して、サークルにユーザートラックを追加します
2. QRacing ソフトウェアで、[Beacon] > [QWS User Track] > 目的のトラックを選択し、QRacing ソフトウェアにダウンロードするか、デバイスにエクスポートします。



8.4 データ分析

ビーコンの設定が完了し、『分析』ボタンをクリックすると、レース分析データが閲覧できます。QRacing

はベストのラップを参考値にします。参考値を変更するには、「照合ラップ設定」をクリックし、ご希望の参考値となるラップを選んでください。

鈴鹿サーキット(レーシングコース)(日本)

比較する基準ラップを設定: **Lap 8**

最小ラップタイム: **140** 秒

平均・最大・最小速度表示

	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差) (km/h)	最低速度 (タイム差) (km/h)	平均速度 (タイム差) (km/h)	距離 (タイム差) (m)
Lap 1	02:25.641 (+02.976)	230.89 (-0.18)	57.04 (-5.00)	143.58 (-3.18)	5808.60 (-7.21)
Lap 2	02:24.705 (+02.040)	229.83 (-1.24)	56.84 (-5.20)	144.08 (-2.68)	5791.33 (-24.48)
Lap 3	02:24.529 (+01.864)	231.65 (+0.58)	58.23 (-3.81)	144.33 (-2.43)	5794.58 (-21.23)
Lap 4	02:24.934 (+02.269)	232.81 (+1.74)	58.78 (-3.26)	144.24 (-2.52)	5807.18 (-8.63)
Lap 5	02:24.501 (+01.836)	231.48 (+0.41)	56.15 (-5.89)	145.10 (-1.66)	5824.36 (+8.55)
Lap 6	02:24.586 (+01.921)	233.83 (+2.76)	59.47 (-2.57)	145.17 (-1.59)	5830.38 (+14.57)
Lap 7	02:23.312 (+00.647)	233.94 (+2.87)	58.30 (-3.74)	145.59 (-1.17)	5795.62 (-20.19)
Lap 8 - BEST	02:22.665	231.07	62.04	146.76	5815.81
Lap 9	02:26.324 (+03.659)	234.87 (+3.80)	56.71 (-5.33)	143.07 (-3.69)	5815.13 (-0.68)
Lap 10	03:40.451 (+01:17.786)	183.05 (-48.02)	42.23 (-19.81)	95.20 (-51.56)	5829.95 (+14.14)
平均	02:32.165	227.34	56.58	139.71	5811.29

区間表示 (スプリット・スプリット)

	時間 (タイム差)	S-1 (タイム差)	1-2 (タイム差)	2-3 (タイム差)	3-F (タイム差)
Lap 1	02:25.641 (+02.976)	41.026 (+00.115)	25.294 (+00.757)	51.727 (+00.274)	27.594 (+01.830)
Lap 2	02:24.705 (+02.040)	41.464 (+00.553)	25.786 (+01.249)	51.702 (+00.249)	25.753 (-00.011)
Lap 3	02:24.529 (+01.864)	41.403 (+00.492)	24.847 (+00.310)	51.701 (+00.248)	26.578 (+00.814)
Lap 4	02:24.934 (+02.269)	40.990 (+00.079)	25.286 (+00.749)	52.244 (+00.791)	26.414 (+00.650)
Lap 5	02:24.501 (+01.836)	40.762 (-00.149)	25.595 (+01.058)	52.261 (+00.808)	25.883 (+00.119)
Lap 6	02:24.586 (+01.921)	41.453 (+00.542)	25.452 (+00.915)	51.643 (+00.190)	26.038 (+00.274)
Lap 7	02:23.312 (+00.647)	41.028 (+00.117)	25.194 (+00.657)	51.045 (-00.408)	26.045 (+00.281)
Lap 8 - BEST	02:22.665	40.911	24.537	51.453	25.764
Lap 9	02:26.324 (+03.659)	41.514 (+00.603)	27.520 (+02.983)	51.738 (+00.285)	25.552 (-00.212)
Lap 10	03:40.451 (+01:17.786)	53.095 (+12.184)	33.850 (+09.313)	01:24.954 (+33.501)	48.552 (+22.788)
理論ベストタイム	02:21.896	40.762	24.537	51.045	25.552
ベストローリングタイム	02:22.538	40.911	24.537	51.045	26.045

分析機能は四項目に分れます。「平均・最大・最小速度表示」「区間表示(スプリット・スプリット)」「スプリット表示(スタート・スプリット)」「現在速度表示」です。ユーザーのレースデータを分析する機能に関して、各分析表と最大ラップタイムから記録を取り出し、ベストの記録としてハイライトします。また、QRacing は参考値を算出するにあたって、仮想ベストタイムとベストラップタイムも算出できます。

仮想ベストタイムとは、全レースにおける最高スプリット時間の総計値です。(緑色表示)

ベストラップタイムとは、全レースにおける最高連続スプリット時間の総計値です(アンダーライン表示)なお、前述の例を取ってみると、仮想ベストタイムというのは、全ラップにおける最高スプリット時間の合計値であります。ベストラップタイムというのは、ご指定のラップ 2(2-3)からラップ 3 (1-2)まで、連続スプリット時間の合計値です。

上の表で例として(緑表示区間)

ベストラップタイム Lap 7 の 2-3 / 3-F 区間から Lap 8 之 S-1 / 1-2 まで加算された成績になります。

他のトラックと比較することもできます。『比較』ボタンをクリックし、ご希望のトラックを選ぶと、分析表が自動的に情報を更新します。なお、**8.6 比較**をご参照ください。

分析データをエクスポートする場合、『出力ラップ情報』ボタンをクリックすると、QRacing は CSV、HTML などのファイル形式として分析表を出力します。

ドラッグレース分析表に関しては、QRacing は自動にいくつかの区間と表に分け、各区間の時間と距離は以下のとおりです。

スプリット表示(スタート・スプリット)

	時間 (タイム差)	S-1 (タイム差)	S-2 (タイム差)	S-3 (タイム差)	S-F (タイム差)
Lap 1	02:25.641 (+02.976)	41.026 (+00.115)	01:06.320 (+00.872)	01:58.047 (+01.146)	02:25.641 (+02.976)
Lap 2	02:24.705 (+02.040)	41.464 (+00.553)	01:07.250 (+01.302)	01:58.952 (+02.051)	02:24.705 (+02.040)
Lap 3	02:24.529 (+01.864)	41.403 (+00.492)	01:06.250 (+00.302)	01:57.951 (+01.050)	02:24.529 (+01.864)
Lap 4	02:24.934 (+02.269)	40.990 (+00.079)	01:06.276 (+00.328)	01:58.520 (+01.619)	02:24.934 (+02.269)
Lap 5	02:24.501 (+01.836)	40.762 (-00.149)	01:06.357 (+00.909)	01:58.618 (+01.717)	02:24.501 (+01.836)
Lap 6	02:24.586 (+01.921)	41.453 (+00.542)	01:06.905 (+01.457)	01:58.548 (+01.647)	02:24.586 (+01.921)
Lap 7	02:23.312 (+00.647)	41.028 (+00.117)	01:06.222 (+00.774)	01:57.267 (+00.366)	02:23.312 (+00.647)
Lap 8 - BEST	02:22.665	40.911	01:05.448	01:56.901	02:22.665
Lap 9	02:26.324 (+03.659)	41.514 (+00.603)	01:09.034 (+03.586)	02:00.772 (+03.871)	02:26.324 (+03.659)
Lap 10	03:40.451 (+01:17.786)	53.095 (+12.184)	01:26.945 (+21.497)	02:51.899 (+54.998)	03:40.451 (+01:17.786)

現在速度表示

Lap 10	03:40.451 (+01:17.786)	53.095 (+12.184)	01:26.945 (+21.497)	02:51.899 (+54.998)	03:40.451 (+01:17.786)
--------	------------------------	------------------	---------------------	---------------------	------------------------

現在速度表示

	時間 (タイム差)	1 (タイム差) (km/h)	2 (タイム差) (km/h)	3 (タイム差) (km/h)	F (タイム差) (km/h)
Lap 1	02:25.641 (+02.976)	132.33 (-7.07)	143.20 (-3.61)	220.94 (-1.58)	177.00 (-1.87)
Lap 2	02:24.705 (+02.040)	126.31 (-13.09)	144.51 (-2.30)	224.15 (+1.63)	178.64 (-0.23)
Lap 3	02:24.529 (+01.864)	135.01 (-4.39)	137.57 (-9.24)	221.37 (-1.15)	172.46 (-6.41)
Lap 4	02:24.934 (+02.269)	134.55 (-4.85)	139.71 (-7.10)	224.13 (+1.61)	174.75 (-4.12)
Lap 5	02:24.501 (+01.836)	140.29 (+0.89)	138.57 (-8.24)	225.57 (+3.05)	178.81 (-0.06)
Lap 6	02:24.586 (+01.921)	133.73 (-5.67)	138.90 (-7.91)	221.15 (-1.37)	181.79 (+2.92)
Lap 7	02:23.312 (+00.647)	132.01 (-7.39)	141.25 (-5.56)	224.83 (+2.31)	176.83 (-2.04)
Lap 8 - BEST	02:22.665	139.40	146.81	222.52	178.87
Lap 9	02:26.324 (+03.659)	133.18 (-6.22)	131.08 (-15.73)	225.81 (+3.29)	181.42 (+2.55)
Lap 10	03:40.451 (+01:17.786)	92.43 (-46.97)	109.40 (-37.41)	106.23 (-116.29)	56.73 (-122.14)

8.4.1馬力分析

QRacing はユーザーによる 1/4 マイル程度のドラッグレース走行が有する場合、車両(車、トラック、バイク)の平均や最大馬力を概算することができます。馬力測定を算出するには、車とレーサーの重量を両方入力しなければなりません。それに、重量に関しては、車両、ドライバー、乗員を全て含めなければなりません。「更新」をクリックすると、車重とレーサーの体重の設定が行えます。

馬力表示

車重: 200 kg
レーサー体重: 70 kg 更新

	最大馬力 (hp)
Lap 1	0.7
Lap 2	0.9
Lap 3	0.9
Lap 4 - BEST	1.0

8.5 トラック

8.5.1 マップビュー

トラックページにおいてラップ情報と分析を比較する場合、ラップは最大三つまで選ばれます。グラフに関しては、距離単位か時間単位を基準として比較することになります。

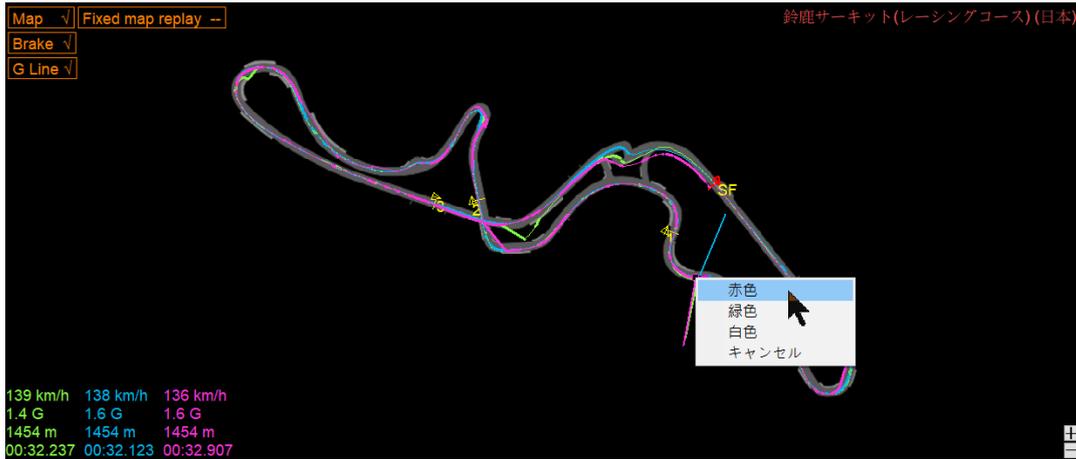


また、2周を比較することにより、時間軸に基づくグラフ上に最高速度/最低速度差の曲線を表示することもできます。



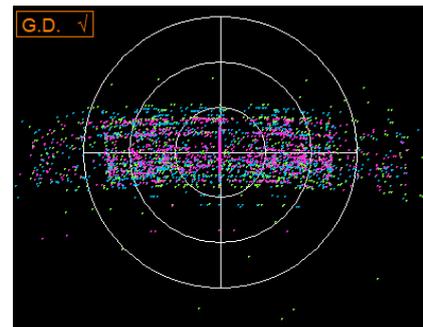
マップビューでは多様な色を使用しながら、グラフ線のトラックにタックをつけることができます。色

は赤、緑、白があります。位置はマークすると、ブレーキ位置や加速位置として定義させることができます。

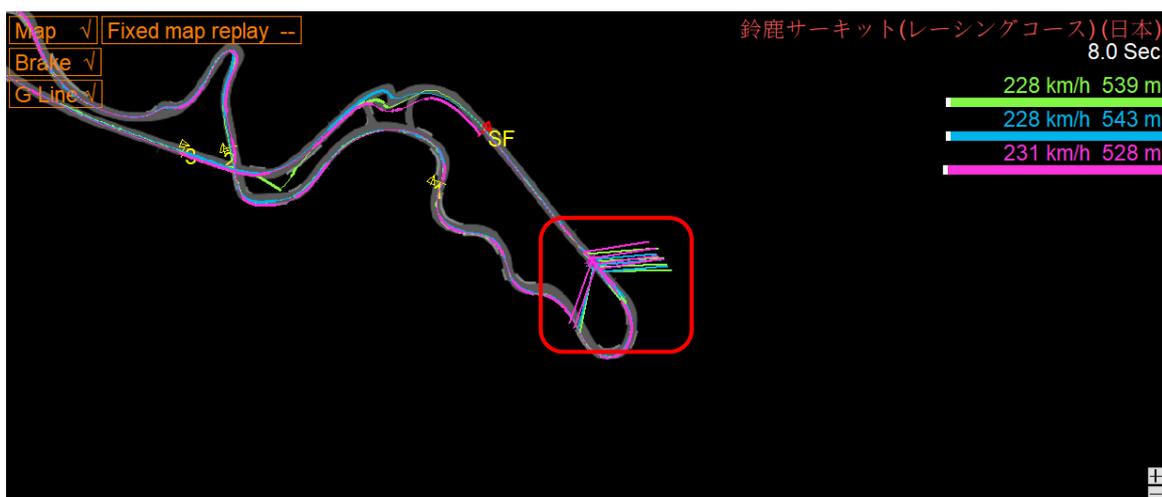


8.5.2 画面表示モード設定

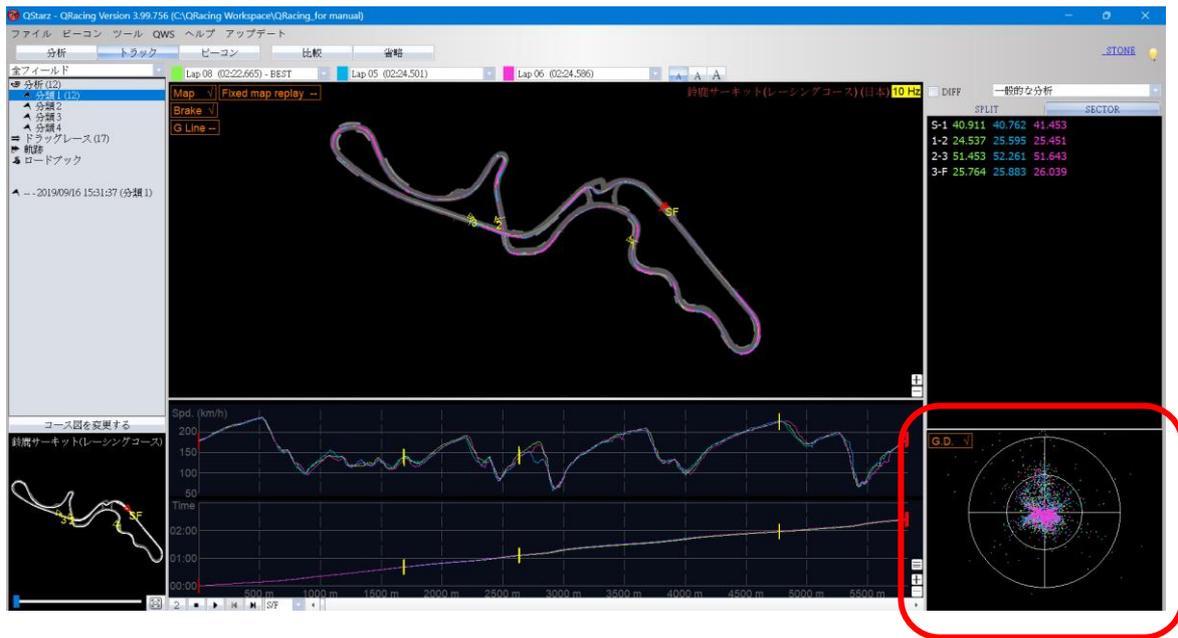
[トレース] ページでは、ユーザーはトレースの再生時に必要な表示設定を選択できます。



8.5.2.1 G 値を表示：トラックを再生する際に、G 値の線をトラックにおいて表示します。



8.5.2.2 G 値分布図を表示：ご希望のトラック上において G 値分布図を表示できます。



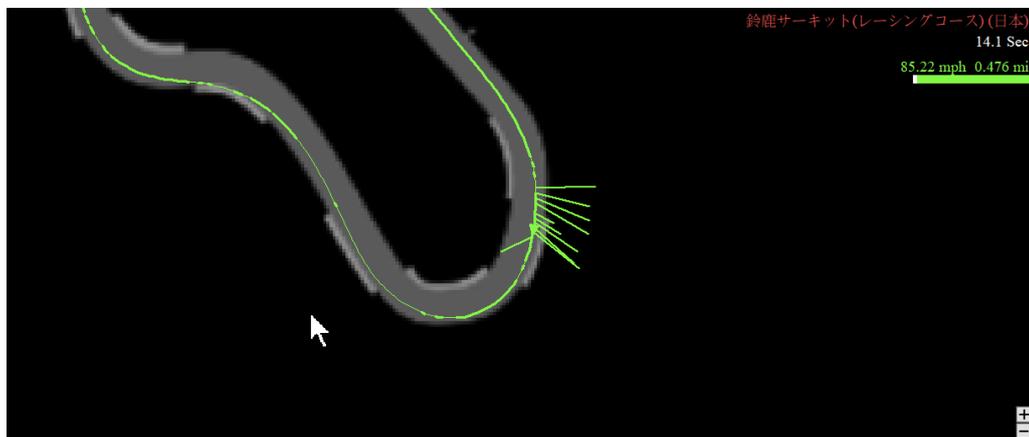
8.5.2.3 ブレーキラインを表示：トラック上においてブレーキラインは表示できます。トラックとの比較、アクセルとブレーキの関連情報を知るには、ご希望トラック上にブレーキラインを表示できます。(太いトラック線はブレーキとなったエリア、細いトラック線はアクセルとなったエリアです。)



8.5.2.4 コース図表示：コース図を隠す事は可能。 **Map** ✓



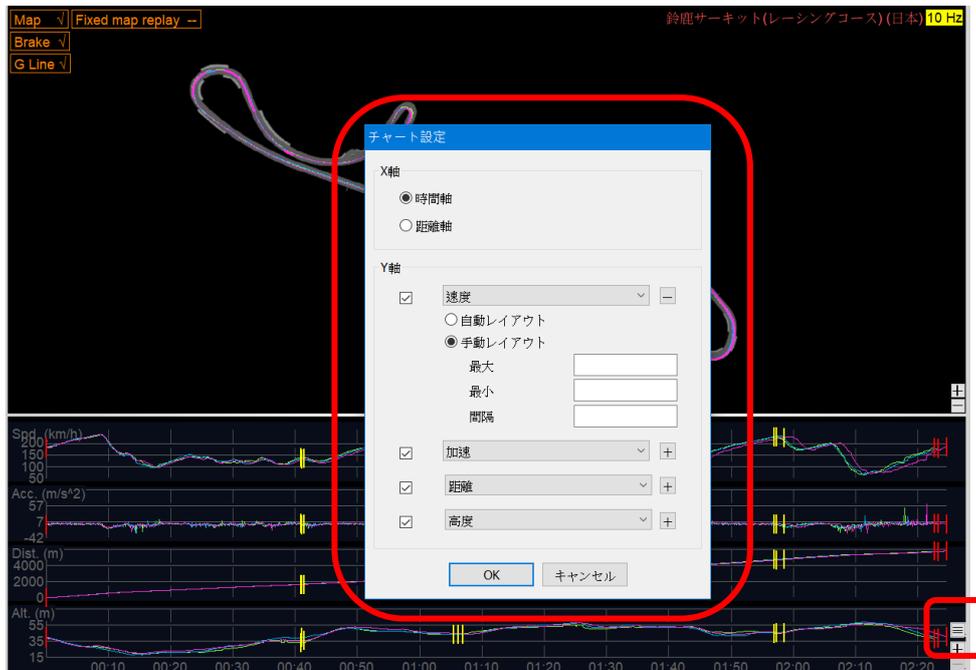
8.5.2.5 再生中コースマップの：セッション再生する際にコースマップが画面中心に固定する設定できます。 **Fixed map replay --**



8.5.2.6 トラックを回転：トラック図の方向を 360 度回転できる機能です。初期設定方向は北に向いてます。

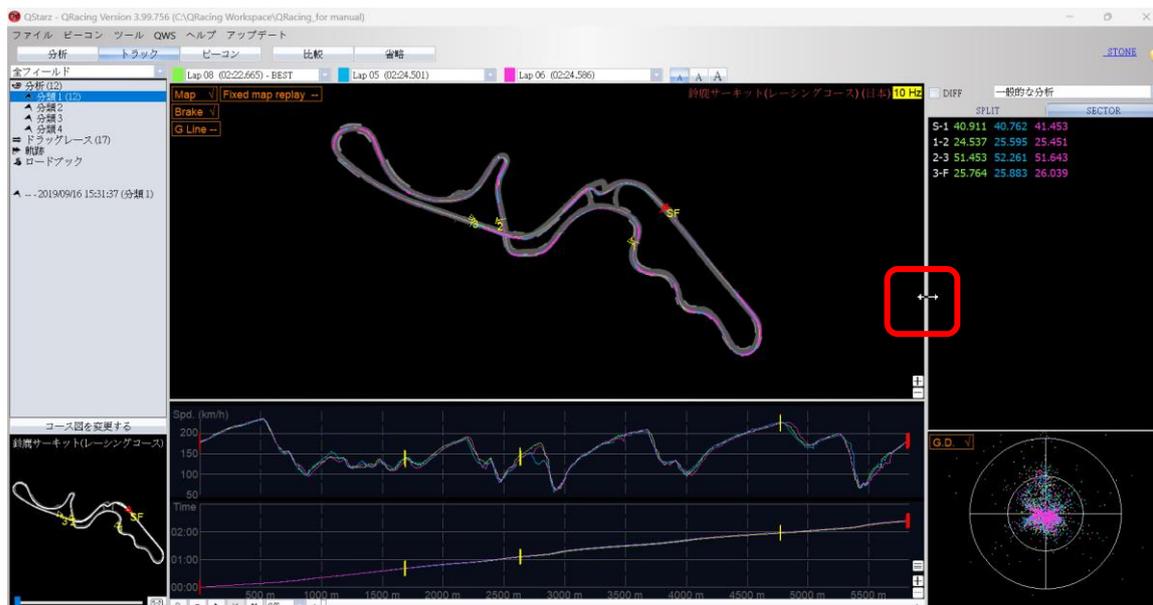


8.5.2.7 チャート設定：チャートの  をクリックすると、さまざまなチャートを表示するように設定したり、チャートの Y 軸スケール設定をカスタマイズしたりできます。



8.5.2.8 ウィンドウのサイズ変更: ウィンドウのサイズを水平/垂直に変更する場合は、ウィンドウの任意の端をポイントします。マウスポインタが変わり、ウィンドウのサイズを変更できることを示します。端をつかんで、ウィンドウを新しいサイズにドラッグします。

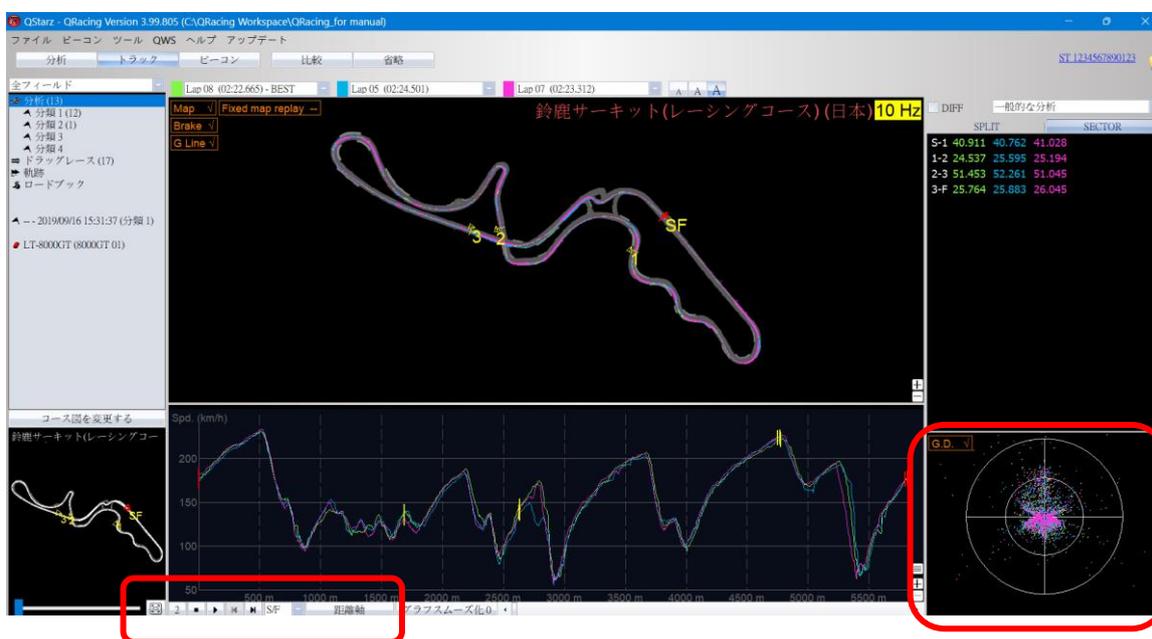




8.5.3 再生

状態バーにある『再生』ボタンをクリックすると、ご指定の三つのラップはレース情報を時間・速度・G値分布図の形として表示し、再生することができます。

下の画面では、G値分布図が表示し、そして、参考値となるトラックラインはG値ラインと同時にリアルタイムで表示することになります。

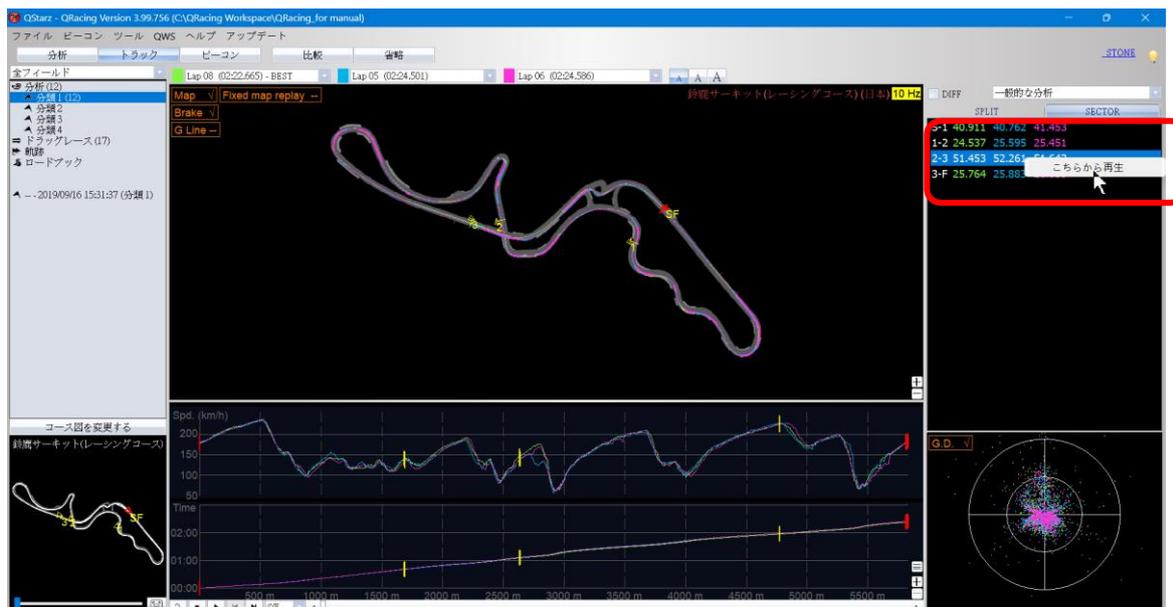


他の成績のいいレーサーと比較し、成績のいい区間を確認する場合、区間番号を指定すると、QRacingは該当区間とあわせて、トラックの再生を開始します。

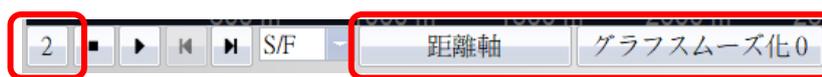


SECTOR から再生したい SECTOR 番号を選択し、マウスを右クリックして、ここから再生することを選択

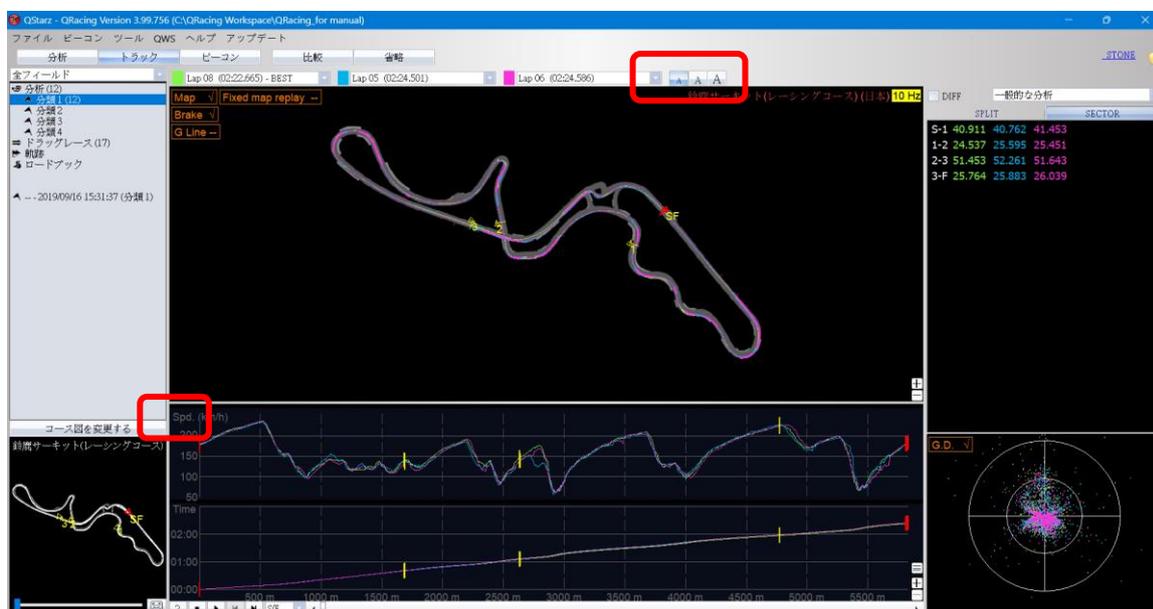
することもできます。



2、1、1/2、1/4 を選択すると、ご指定の速度でトラックを再生できます。
 ショートカットキーで X 軸の表示単位を切り替えたり、時間基準や距離基準を設定したりできます。
 また、速度スムージング設定を使用して、スピードメーターの細かさを調整します。

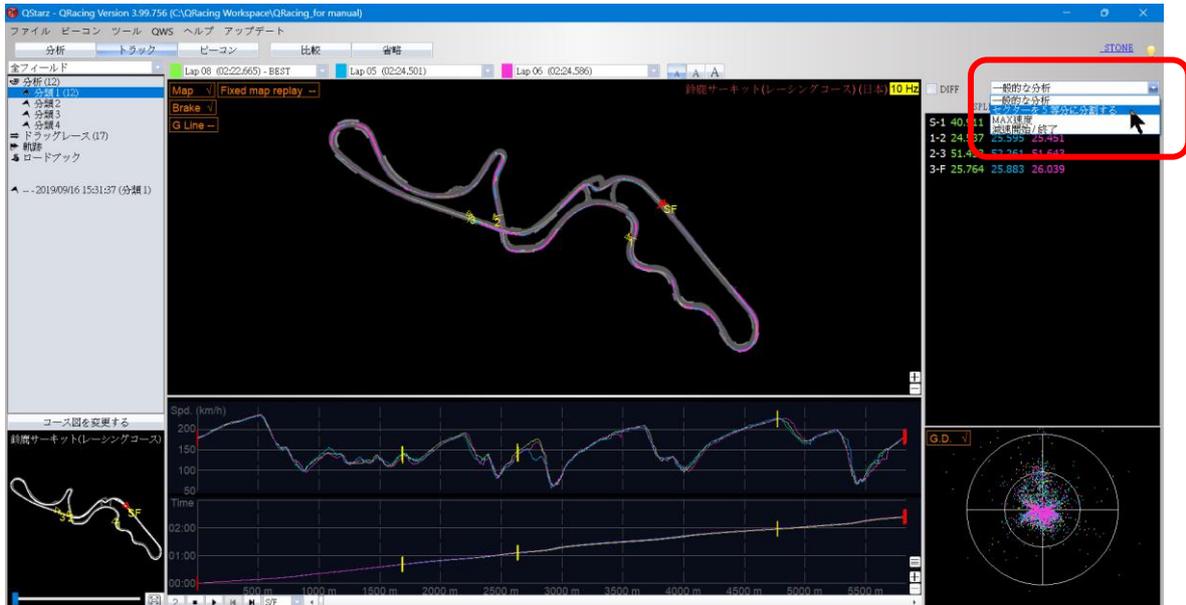


文字サイズのボタンでページの文字サイズを大きくか小さく調整できます



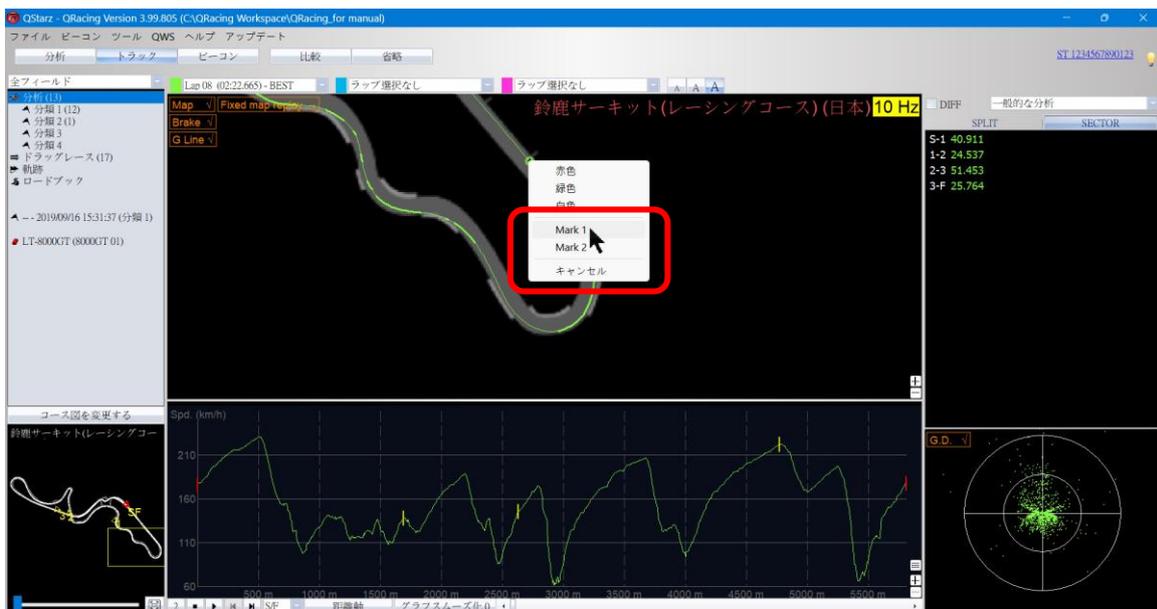
8.5.4 強化された分析オプション

強化された分析オプションを使用すると、等セクターの分析、または相対速度の分析を適用できます。
 ドロップダウンメニューを使用して、分割方法を選択します。
 たとえば、等セクタ オプションを使用して、トレースに沿って等距離に分割できます。等しいセクターをクリックし、セクターの数を入力すると、等間隔のセクターに分割されます。



マーク機能を使用すると、2点間の距離と時間を取得できます。

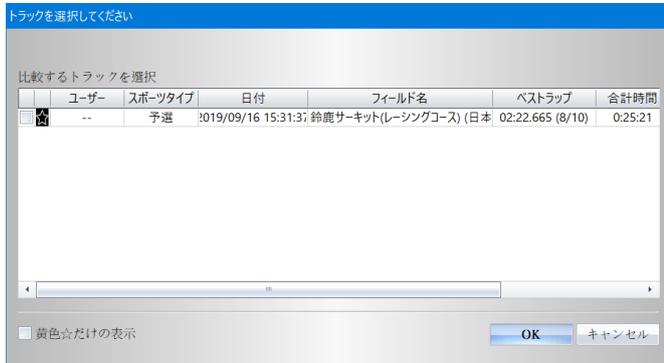
トレース上でマウスの左ボタンをクリックし、マーク1とマーク2を設定して、2点間の時間と距離を取得します。



8.6 比較

『比較』ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

『比較』ボタンをクリックし、同じレースタイプセッションを別のユーザーのセッション記録と合わせて比較できます。



平均・最大・最小速度表示

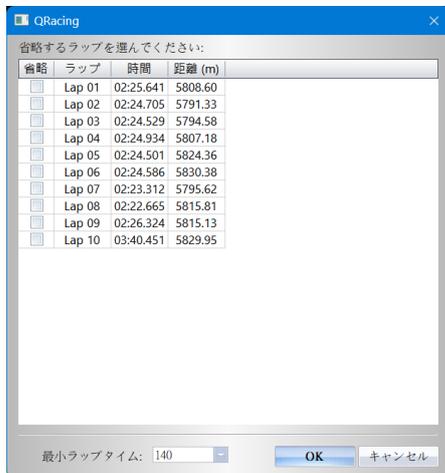
	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差) (km/h)	最低速度 (タイム差) (km/h)	平均速度 (タイム差) (km/h)	距離 (m)
Lap 1	02:00.632 (+01.191)	208.09 (+4.28)	63.02 (-1.06)	104.50 (-0.49)	3501.71
Lap 2 - BEST	01:59.441	203.81	64.08	104.99	3483.29
Lap 3	02:00.605 (+01.164)	193.03 (-10.78)	63.38 (-0.70)	104.14 (-0.85)	3488.88
Lap 4	02:04.567 (+05.126)	182.70 (-21.11)	63.91 (-0.17)	100.55 (-4.44)	3479.07
Lap 5	02:28.953 (+27.514)	121.18 (-82.63)	51.93 (-12.15)	85.00 (-19.99)	3469.63
CI: Lap 1	02:00.632 (+01.191)	208.09 (+4.28)	63.02 (-1.06)	104.50 (-0.49)	3501.71
CI: Lap 2 - BEST	01:59.441	203.81	64.08	104.99	3483.29
CI: Lap 3	02:00.605 (+01.164)	193.03 (-10.78)	63.38 (-0.70)	104.14 (-0.85)	3488.88
CI: Lap 4	02:04.567 (+05.126)	182.70 (-21.11)	63.91 (-0.17)	100.55 (-4.44)	3479.07
CI: Lap 5	02:28.953 (+27.514)	121.18 (-82.63)	51.93 (-12.15)	85.00 (-19.99)	3469.63
平均	02:06.440	181.76	61.26	99.83	3484.49

8.7 省略

『省略』ボタンをクリックし、省略するラップを設定・キャンセルすることができます (例えウォームアップラップの場合)。ラップ設定が終了すると、「無視されます」として灰色の表示します。

ラップを省略した場合、画面上に省略したラップ数を表示するボタンがございます。

クリックすると省略したラップ明細を表示します。



鈴鹿サーキット(レーシングコース) (日本)

比較する基準ラップを設定: Lap 8
最小ラップタイム: 140 秒

平均・最大・最小速度表示

	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差) (km/h)	最低速度 (タイム差) (km/h)	平均速度 (タイム差) (km/h)	距離 (タイム差) (m)
Lap 1 (無視されます)	02:25.641 (+02.976)	230.89 (-0.18)	57.04 (-5.00)	143.58 (-3.18)	5808.60 (-7.21)
Lap 2 (無視されます)	02:24.705 (+02.040)	229.83 (-1.24)	56.84 (-5.20)	144.08 (-2.68)	5791.33 (-24.48)
Lap 3	02:24.529 (+01.864)	231.65 (+0.58)	58.23 (-3.81)	144.33 (-2.43)	5794.58 (-21.23)
Lap 4	02:24.934 (+02.269)	232.81 (+1.74)	58.78 (-3.26)	144.24 (-2.52)	5807.18 (-8.63)
Lap 5	02:24.501 (+01.836)	231.48 (+0.41)	56.15 (-5.89)	145.10 (-1.66)	5824.36 (+8.55)
Lap 6	02:24.586 (+01.921)	233.83 (+2.76)	59.47 (-2.57)	145.17 (-1.59)	5830.38 (+14.57)
Lap 7	02:23.312 (+0.647)	233.94 (+2.87)	58.30 (-3.74)	145.59 (-1.17)	5795.62 (-20.19)
Lap 8 - BEST	02:22.665	231.07	62.04	146.76	5815.81
Lap 9	02:26.324 (+03.659)	234.87 (+3.80)	56.71 (-5.33)	143.07 (-3.69)	5815.13 (-0.68)
Lap 10	03:40.451 (+01.17.786)	183.05 (-48.02)	42.23 (-19.81)	95.20 (-51.56)	5829.95 (+14.14)
平均	02:33.913	226.59	56.49	138.68	5814.13

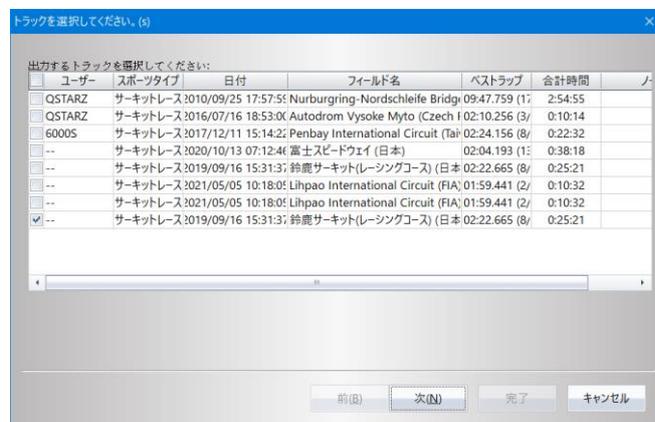
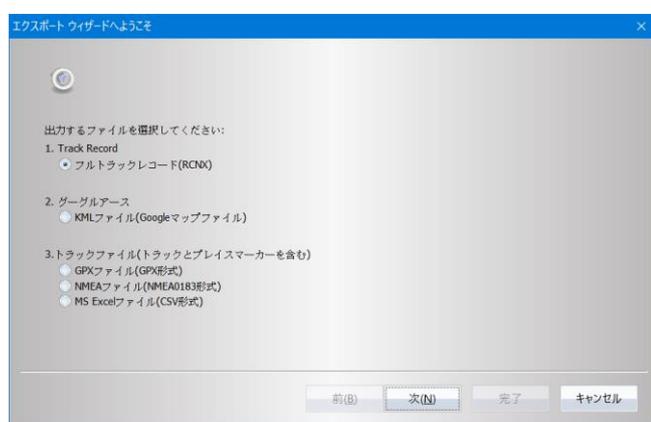
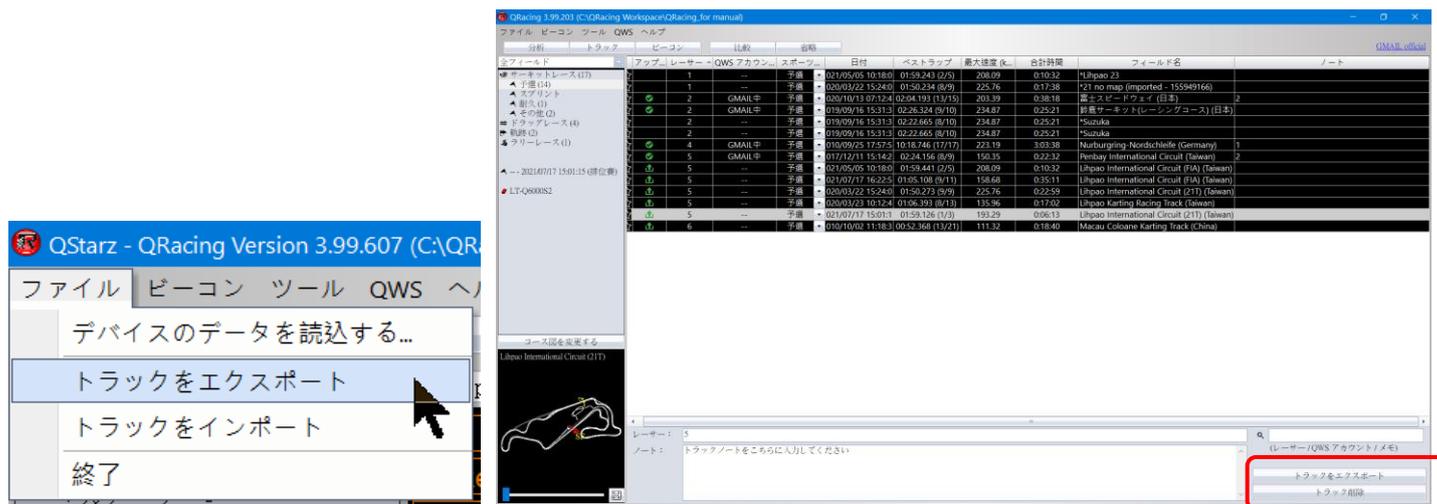
9.トラックをエクスポート・インポート

9.1 トラックをエクスポート

ユーザーがベストのトラックを他のユーザーと情報交換し、または、バックアップする場合は、RCN ファイル形式 (QRacing は対応するファイル形式) や他のファイル形式 (KML、GPX、NMEA、CS) としてエクスポートします。

『ファイル』を開き、『トラックをエクスポート』をクリックし、トラック記録形式 (RCN 形式ファイル) か他のファイル形式を選び、出力するトラックを選んでください。

*TIP : セッションリストで画面右下のトラックエクスポートボタンをクリックすると今選択した記録を自動的にピックアップします。



9.2 トラックをインポート

『ファイル』を開き、『トラックをインポート』をクリックし、インポートするトラックを選ぶ (* .rcnx / *.rcn ファイル形式のみは対応します) と、レースタイプを選択するメッセージが出てきます。なお、レースタイプがドラッグレースの場合、詳細(距離、時速)について設定してください。(Qstarz の HP から他人のレースデータ (.rcnx / .rcn) をダウンロードし、インポートすれば、他人との比較分析またさらなる研究する事ができます。)

10. QWS クラウドにセッションをアップロードする

QRacing は、QRacing Web (<https://qws.qstarz.com>) にセッション記録をアップロードする機能をサポートできます。QRacing を起動した後、アカウントを作成機能で自分のアカウントを新規作成できます。ログイン後、QRacing アップロード機能を使用して QRacing Web にセッション記録をアップロードしたり、モバイルブラウザを使用して QRacing Web にログインしたり、自分のセッション記録分析データをいつでも閲覧することができます。

QWS はセッション記録をクラウドでバックアップ同期だけでなく、セッションのベストラップタイム、

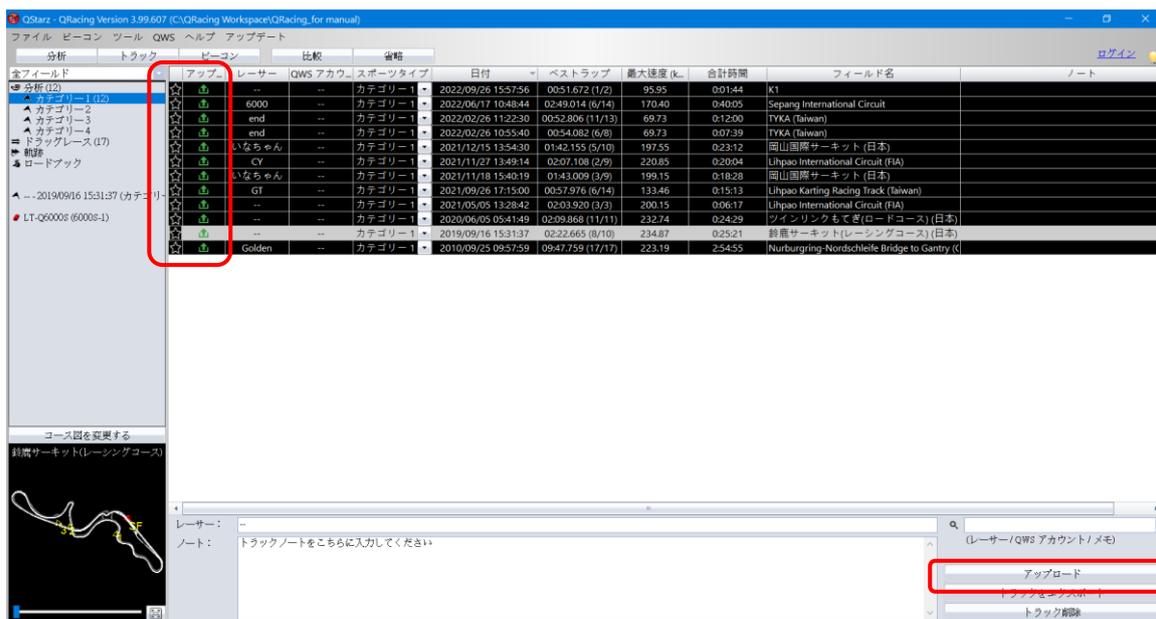
ベスト理論ラップタイム、セッションの比較とランキングも対応します。

再生機能では複数のラップ記録を同時に比較することができます。路線の軌跡と走行情報を提供し次の走行改善の参考基準になります。

記録が成功にアップロードされると、ユーザー名がログインしたアカウント名に変更されます。

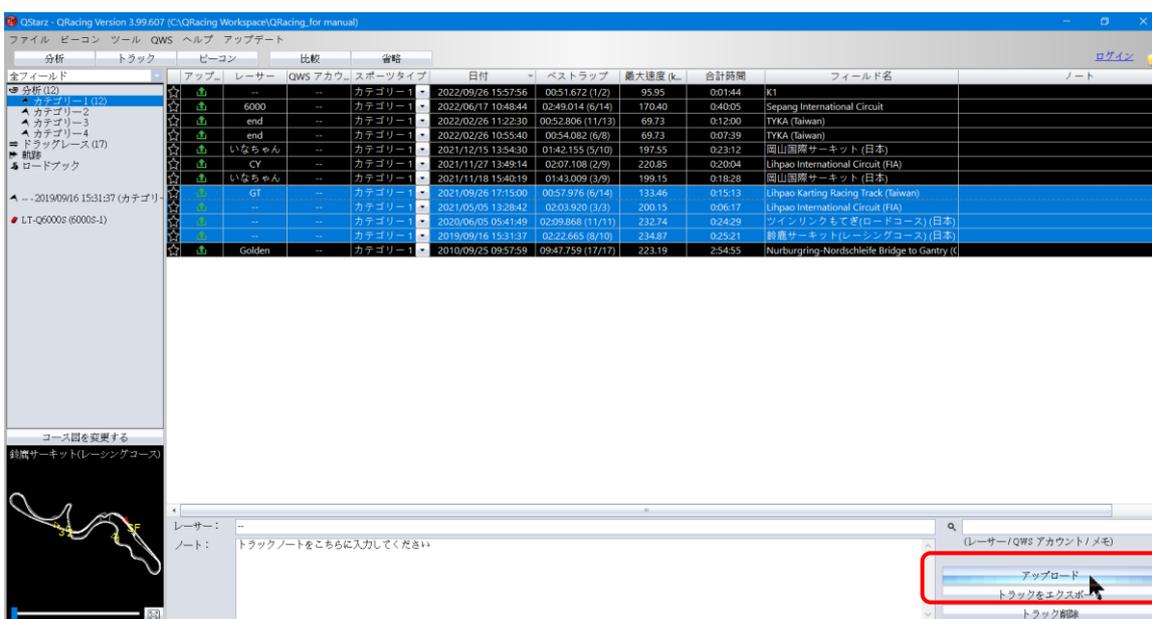
※QRacingWeb にアップロードできるのは公式実績のみです。

単一のセッションをアップロードする: セッションを選択したら、緑色のアップロード矢印をクリックするか、右下隅にある [アップロード] ボタンをクリックして、単一のセッションをアップロードできます。

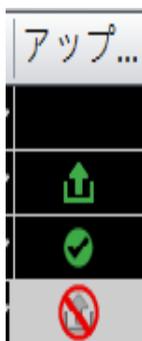
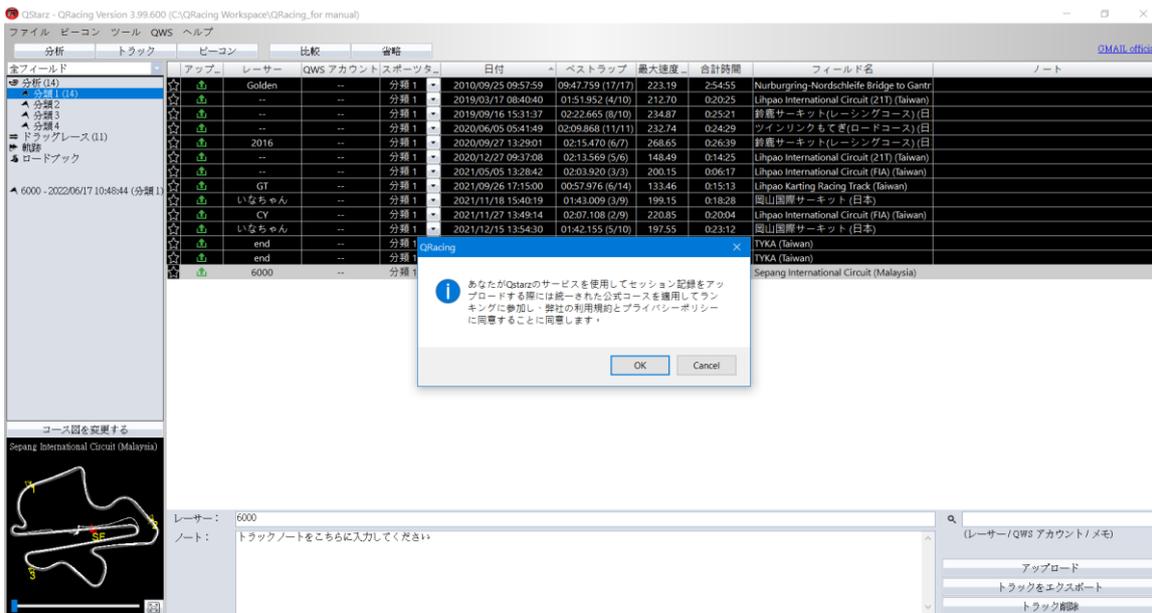


複数のセッションのアップロード: 複数のセッションを選択した後、右下隅にある [アップロード] ボタンをクリックして、複数のセッションをアップロードします。

(隣接する複数のセッションを選択するには、Shift キーを押しながらセッションを選択します。隣接していない複数のセッションを選択するには、Ctrl キーを押しながらセッションを選択します。)



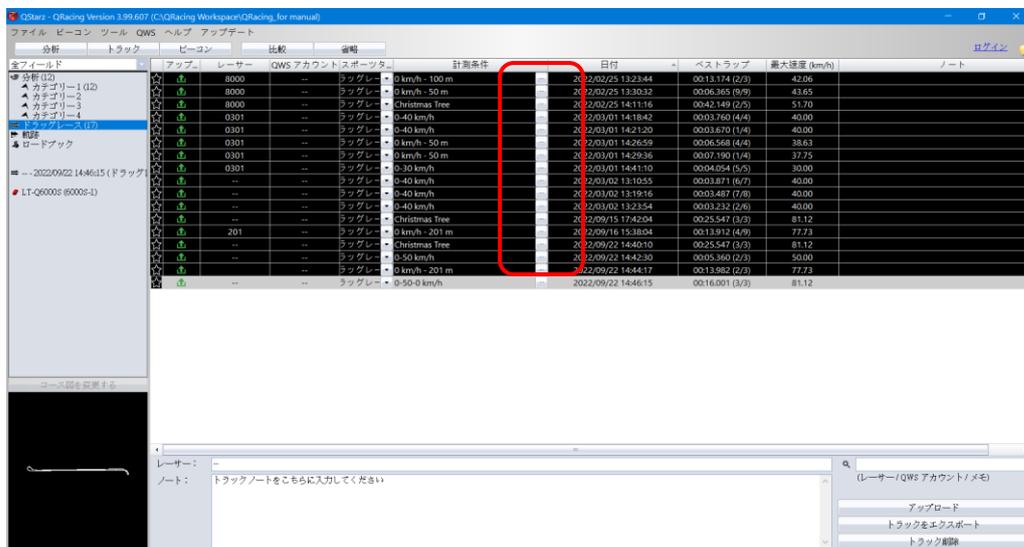
[OK] をクリックして、Qstarz の関連条件に同意し、セッションをアップロードすることに同意します。



署名なし：ユーザー自作コースを使用しているため、アップロードは現在サポートされていません
 緑の矢印：アップロードできます
 緑のチェックマーク：アップロード済
 赤の禁止マーク：リザルトなし、または軌跡を調整されたため、アップロードできません

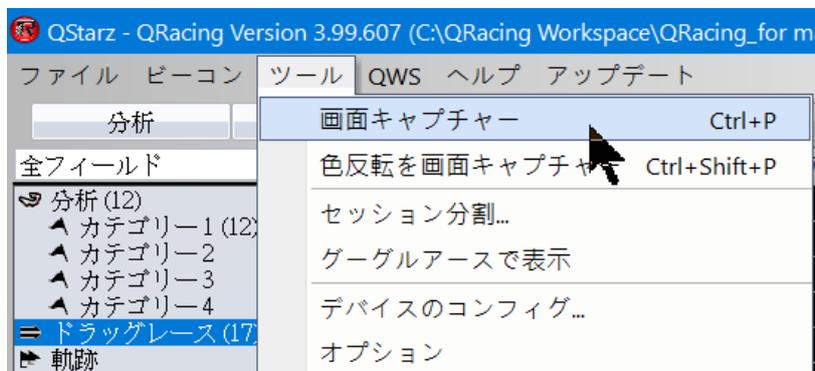
11. ドラッグレースの設定

条件をクリックして、1つのプライマリ条件と3つのセカンダリ条件を設定します。二次条件は、一次条件の範囲内に設定する必要があります。



12. 画面キャプチャー

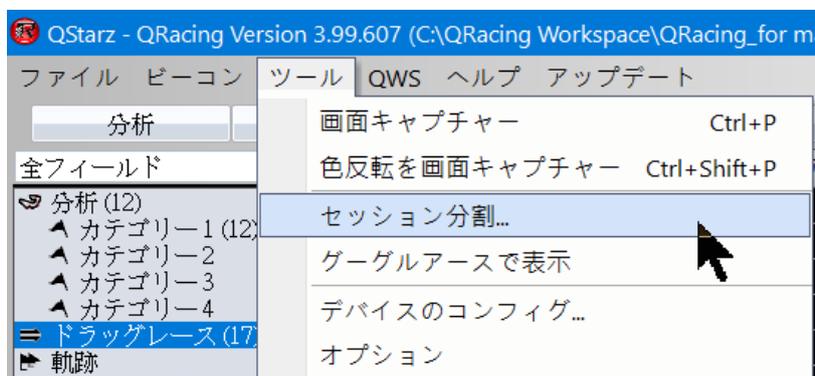
下図のとおり、画面をキャプチャーする機能にも対応しており、撮った画面はワークスペースに保存されます。「ツール」を開き、「画面キャプチャー」をクリックしてください。

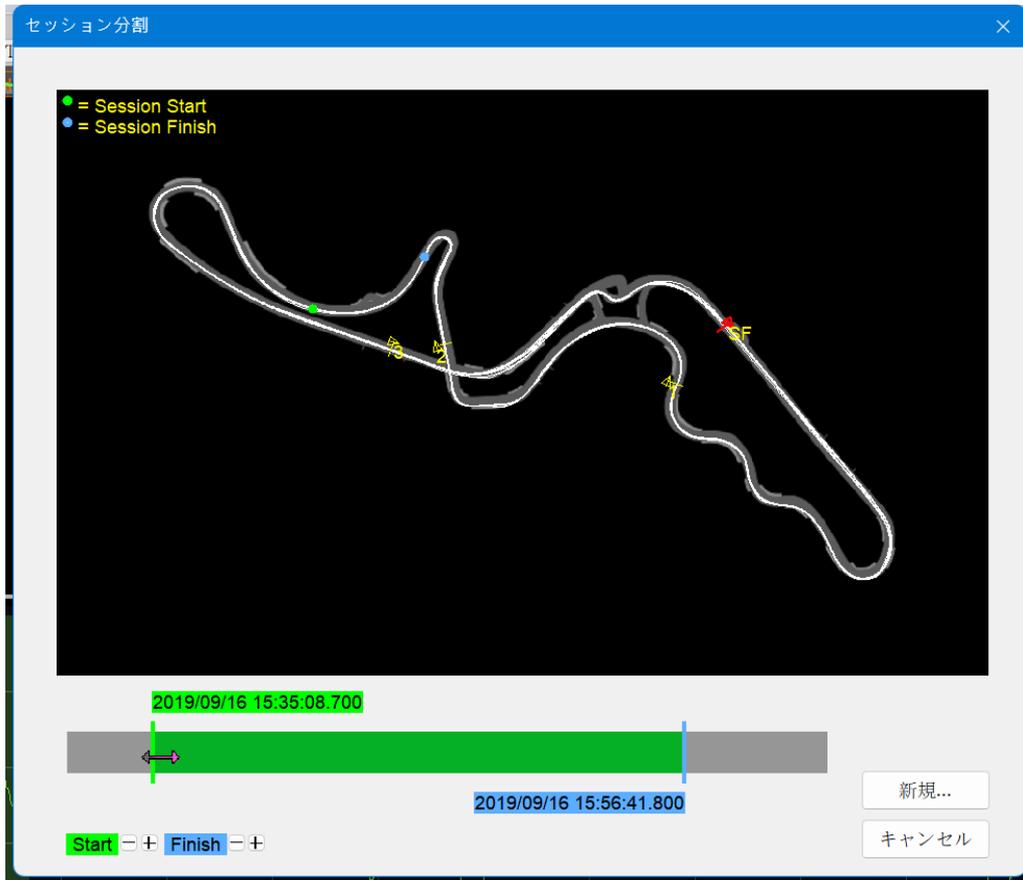


13. セッション分割

セッションで待機時間が長すぎる場合や、トレースがトラック外にある場合は、セッション分割機能を使用してトレースの開始点と終了点を調整し、必要なトレース範囲を取得して、トラック上にないトレースを除外することができます。または不要なトレース。セッションは、複数の異なるセッションに分割することもできます。

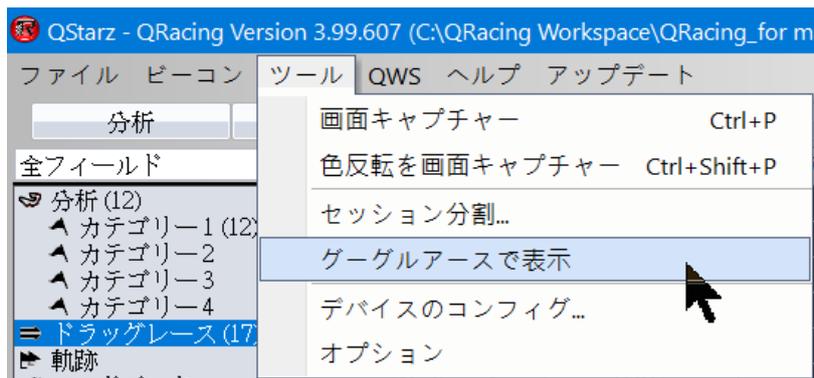
セッション分割機能は、目的の始点と終点を調整した後、マウスポインターを使用してグリーンの左右の目盛りを移動してください (緑の線が始点、青の線が終点)。【新規作成】をクリックしてデータをキャプチャし、分析用の新しいセッションとして保存します。





14. グーグルアース

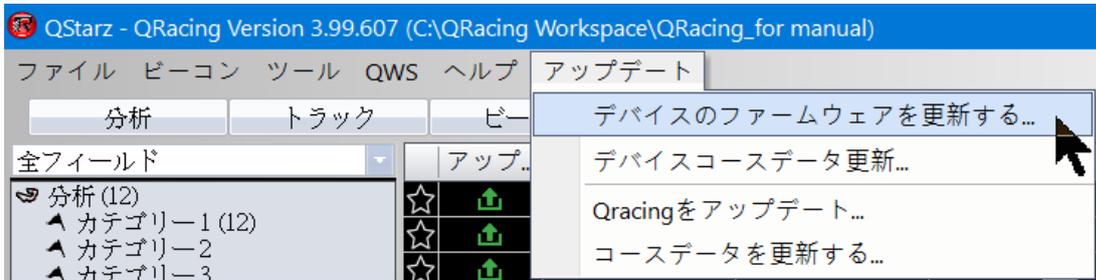
QRacing はトラックを出力させることができ、そして、「グーグルアース」と連携し、表示することもできます。



(ノート：あらかじめグーグルアースをインストールしておく必要があります。)

15. QRacing ソフトウェアと LT Q6000, LT 6000S, LT-6000S2, LT-8000GT、BL-1000GT をアップデートします。

QRacing メニュー で [更新] > [QRacing の更新] [デバイス ファームウェアの更新] を選択して、QRacing ソフトウェアと Qstarz デバイスのファームウェアを更新します。



QRacing はサーバーより最新ソフトウェアバージョンがあるかをチェックしています。新しいバージョンが公開した場合、QRacing はダウンロードするについてユーザーに尋ねます。同時に、6000S が接続してくると、6000S のファームウェアバージョンをチェックし、6000S ファームウェアや 6000S 本体の最新バージョンのダウンロードページに案内いたします。

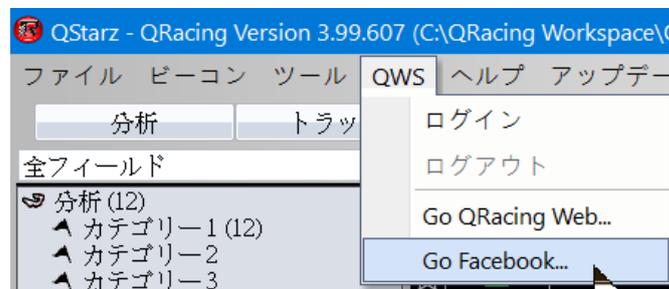
ダウンロードが完了した際は、各デバイスのファームウェアをアップデートするには、ページ内の案内手順で更新するのを注意してください。間違い手順に行ったら、デバイスの故障になる恐れがございます。

16. フェイスブックでキュースターズと交流しましょう

「フェイスブック」ボタンをクリックすると（下図をご参照ください）、

QRacing はウェブブラウザを開き、フェイスブックでの QSTARZ をご案内します。

『いいね』ボタンをクリックして、キュースターズの最新情報をゲットしましょう。



17. Q&A

-Windows 8 / 10 に QRacing で本体からデータが読み込めないなら、どうすればいいでしょうか？

info@qstarz.com までお問い合わせください、Win 8 / 10 専用なドライバーを提供します。

-本体からデータ読み込めば、コース図は表示しません？

まずコース図のデータベースを更新してみてください。 --> [ヘルプ] --> [コース図を更新する] もしくは、持っているコースデータを .renx にエクスポートして、弊社までメールしてください。コース図作成に協力いたします。